

第11回 全国小売業万引被害実態調査分析報告書

平成28年6月

調査：特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

**協力：警察庁生活安全局生活安全企画課
日本小売業協会**

ご あ い さ つ

ここに平成 27 年度に実施した「第 11 回 全国小売業万引被害実態調査」に関する報告書をお届けします。

平成 17 年度に開始したこの調査も 11 年目を迎えました。万引問題の実態を知ることがその対策の重要性を教えることになるという思いから始めたこの実態調査は関係者のご協力を得て、万引被害の状況をうかがわせる他に例のないものとして次第に社会全体に認知されてきたと思います。警察庁生活安全局生活安全企画課及び各都道府県警察関係者、日本小売業協会及び特定非営利活動法人（万防機構）の会員各位のご協力に心から感謝申し上げます。

平成 27 年の万引犯罪の検挙補導人員 75,114 件と前年比 7,2% と大きく下がりました。その中で青少年が全体の 20,4% と下がりが目立ちましたが高齢者比率は 36,7% と増えています。

高齢者社会を迎えている我が国の 1 つの社会現象ではありますが、万防機構としては見過ごす訳には行きません。引き続き関係のみなさまとこの問題に対峙してゆきます。

一方で万引品がネットで販売されている実態に多くの小売業の皆様が悲鳴を上げています。この問題については「ネットへの盗品流入防止委員会」を発足させ、実態の把握から始めます。

万防機構としては業種別の対策を行うことにより細かな対策を示すようにしようとしています。皆様の実態を踏まえた細かな支援を願い申し上げます。

平成 28 年 6 月

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構
理事長 竹花 豊

目 次

第 11 回全国小売業万引被害実態調査[ダイジェスト版]	1
第 1 章 全国万引実態調査について	4
(1)調査の背景	4
(2)調査目的	4
(3)調査内容	4
(4)調査実施の枠組み	4
(5)調査対象	5
(6)調査の経過	5
第 2 章 調査結果	6
回答企業プロフィール	6
(1)業態別分布	6
(2)店舗数・年商・決算月の分布	6
I. 万引犯罪発見後の処理について	7
問 1 万引対策を担当している部署	7
問 2-1 万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針	8
問 2-2 警察に届ける際の判断基準の有無	9
問 2-3 基準内容	10
問 3 警察の書類作成に要する時間の変化	11
II. 万引犯罪の防止策について	12
問 4-1 ①万引防止策／ハード（機器等）対策	12
問 4-1 ②万引防止策／ソフト（訓練等）対策	13
問 4-1 ③万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策	14
問 4-1 ④万引防止策／高齢者の万引防止策	15
問 4-2 顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入	16
問 4-3 集団窃盗対策として、同業者との情報共有について	17
問 4-4 犯人が映っている画像の共有	18
問 5-1 捕捉にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求について	19
問 5-2 損害賠償請求で得た利益について	20

問 6-1 被害者等通知制度の認知	21
問 6-2 昨年、被害者等通知制度を活用された回	22
問 7 マイバックについて	23
問 8 万引窃盗犯の「店内確保」について	24
問 9-1 万引された商品がネットに出品されたこと	25
問 9-2 万引きされた商品がネットに出品された回数	26
問 9-3 万引商品であると判断した理由	27
問 9-4 出品を知った経緯	28
問 9-5 被害品のその後	29
問 10-1 インターネット以外で処分先の目星	30

Ⅲ. 万引犯罪被害の状況及び傾向について	31
問 1 1-1 確保した万引犯の人数（確保した人数ベース）	31
問 1 1-2 万引犯罪被害の件数（確保した人数ベース）	32
問 1 1-3 万引犯罪被害の金額（確保した人数ベース）	33
問 1 1-4 確保した万引犯の人数（性別）	34
問 1 2 万引犯を確保した者の内訳	35
問 1 3 年間の総売上げに対する不明ロス金額の構成比	36
問 1 3-2 万引被害金額の増減状況	37
問 1 3-3 不明ロス部門別売上構成比	38
問 1 4 不明ロス金額の原因別推定割合	39
問 1 5-1 棚卸でロス率が高い店舗の指導状況	40
問 1 6 時期別万引被害件数	41

業界(企業)における東京万引き防止官民合同会議

における取組状況について	42
1 調査概要	42
2 調査結果の概要	42
3 今後の課題	44

第 11 回全国万引き被害実態調査 コメント欄集計

全国万引被害実態調査票	54
-------------	----

第11回 全国小売業万引被害実態調査〔ダイジェスト版〕

回答企業数／部門別分布

今回のアンケート回答企業は573社＜前回 603社＞となっている。上位10部門の部門別分布は、多い順にスーパー 161社、書籍・文具 102社、楽器・CD・レンタル 73社、百貨店 49社、ドラッグストア 34社、その他専門店 31社、ホームセンター・カー用品 30社、婦人服・子供服 21社、玩具・ホビー用品 12社、服飾・服飾雑貨 10社、となっている。

店舗数・年商・決算月の分布

回答企業の展開している店舗数は、直近決算年度で「5店舗以下」244件（42.6%）、「11～30店舗」95件（16.6%）、「101店舗以上」65件（11.3%）、「6～10店舗」63件（11%）、「31～50店舗」44件（7.7%）、「51～100店舗」42件（7.3%）の順となっており、幅広く分布している。平均は131.3店舗。（コンビニ・ミニスーパーの平均5164.4店舗が平均店舗数を押し上げているため、店舗数の平均は大きい意味を持たない。）

年商の単純平均は565億円＜前回513億＞、決算月の分布は2月 143社、3月 154社と、この2ヶ月で全体の5割を占めている。

問1. 万引対策を担当している部署

万引対策を担当している部署については、「店舗」326件（56.9%）、「本部」169件（29.5%）、「警備部門」34件（5.9%）、「その他」31件（5.4%）となっている。

問2-1. 万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針

万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針については、「全件警察に届出する」317件（55.3%）、「警察に届出するのはケースバイケース」223件（38.9%）、「届出しない」4件（0.7%）となっている。

問2-2. 警察に届ける際の判断基準の有無

警察に届ける際の判断基準の有無については、「特に判断基準は無い」146件（65.5%）、「判断基準がある」77件（34.5%）となっている。

問2-3. 基準内容

警察に届ける際の基準の内容については、「その他」47件（61%）、「被害額の大きさ」24件（31.2%）、「犯行の回数」4件（5.2%）となっている。

問3. 警察の書類作成に要する時間の変化

警察の書類作成に要する時間の変化については、「わからない」251件（43.8%）、「警察の対応時間は変わらない」211件（36.8%）、「警察の対応時間は短くなった」63件（11%）、「警察の対応時間は長くなった」10件（1.7%）となっている。

問4-1①. 万引防止策／ハード(機器等)対策

万引防止策／ハード（機器等）対策については、「特にない」413件（72.1%）、「ある」121件（21.1%）となっている。

問4-1②. 万引防止策／ソフト(訓練等)対策

万引防止策／ソフト（訓練等）対策については、「特にない」424件（74%）、「ある」76件（13.3%）となっている。

問4-1③. 万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策

万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策については、「特にない」458件（79.9%）、「ある」48件（8.4%）となっている。

問4-1④. 万引防止策／高齢者の万引防止策

万引防止策／高齢者の万引防止策については、「特にない」466件（81.3%）、「ある」39件（6.8%）となっている。

問4-2. 顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入について

顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入については、「考えていない」457件（79.8%）、「検討中である」50件（8.7%）、「すでに導入している」35件（6.1%）となっている。

問4-3. 集団窃盗対策として、同業者との情報共有について

集団窃盗対策として、同業者との情報共有については、「考えていない」316件（55.1%）、「すでに情報の共有をしている」128件（22.3%）、「検討中である」97件（16.9%）となっている。

第11回 全国小売業万引被害実態調査〔ダイジェスト版〕

問4ー4. 犯人が映っている画像の共有

犯人が映っている画像の共有については、「画像は共有していない」77件（60.2%）、「画像も共有している」50件（39.1%）となっている。

問5ー1. 捕捉にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求について

捕捉にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求については、「考えていない」428件（74.7%）、「検討中である」87件（15.2%）、「すでに導入している」26件（4.5%）となっている。

問5ー2. 損害賠償請求で得た利益について

損害賠償請求で得た利益については、「雑収入に計上している」21件（80.8%）、「その他」4件（15.4%）、「公益的な活動団体に寄付している」1件（3.8%）となっている。

問6ー1. 被害者等通知制度の認知

被害者等通知制度の認知については、「知らなかった」418件（72.9%）、「知っている」123件（21.5%）、「活用したことがある」13件（2.3%）となっている。

問6ー2. 昨年、被害者等通知制度を活用された回数

昨年、被害者等通知制度を活用された回数については、「1回」4件（30.8%）、「3回」2件（15.4%）となっている。

問7. マイバックについて

マイバックについてについては、「マイバックについては奨励も、お断りもしていない」332件（57.9%）、「マイバックを奨励している」194件（33.9%）、「マイバックはお断りしている」19件（3.3%）となっている。

問8. 万引窃盗犯の「店内確保」について

万引窃盗犯の「店内確保」についてについては、「していない」354件（61.8%）、「すでに実施している」130件（22.7%）、「検討中である」62件（10.8%）となっている。

問9ー1. 万引された商品がネットに出品されたこと

万引された商品がネットオークションに出品されたことについては、「わからない」428件（74.7%）、「ない」84件（14.7%）、「ある」46件（8%）となっている。

問9ー2. 万引された商品がネットに出品された回数

万引きされた商品がネットオークションに出品された回数については、「1回」18件（39.1%）、「2回」10件（21.7%）、「3回」6件（13%）、「5回」1件（2.2%）、「6回以上」1件（2.2%）となっている。

問9ー3. 万引商品であると判断した理由

万引商品であると判断した理由については、「自社のオリジナル商品であるから」13件（28.3%）、「自社の値札が付いていた・自社の商標やマークがあった」12件（26.1%）、「警察から連絡があった」12件（26.1%）、「商品の画像が外形上よく似ているから」8件（17.4%）、「大量万引された商品が大量にネットで売られていた」6件（13%）、「商品に付けられた一連番号が合致しているから」5件（10.9%）、「その他」5件（10.9%）となっている。

問9ー4. 出品を知った経緯

出品を知った経緯については、「自社社員がネットを調べて見つけた」27件（58.7%）、「警察から連絡を受けて知った」15件（32.6%）、「第三者から連絡を受けて知った」5件（10.9%）、「万引犯人（被疑者）から聞き出した」3件（6.5%）、「その他」3件（6.5%）となっている。

問9ー5. 被害品のその後

被害品のその後については、「戻ってこなかった」26件（56.5%）、「犯人が弁済した」9件（19.6%）、「警察から手元に戻ってきた」7件（15.2%）、「その他」5件（10.9%）、「出品者から手元に戻ってきた」3件（6.5%）、「ネット業者から手元に戻ってきた」1件（2.2%）となっている。

第11回 全国小売業万引被害実態調査〔ダイジェスト版〕

問10-1. インターネット以外で処分先の目星

インターネット以外で処分先の目星については、「中古品店」101件（17.6%）、「その他」24件（4.2%）、「質屋」11件（1.9%）、「海外へ送られている」9件（1.6%）、「現金問屋」7件（1.2%）となっている。

問11-1. 確保した万引犯の人数（確保した人数ベース）

確保した万引犯の人数については、この問いに対する有効回答 399社の総人数が 18,320人、業界平均が 46人。平均人数の多い業態は、コンビニ・ミニスーパー 2529人、ホームセンター・カー用品 167人、総合ディスカウント 93人、カジュアル衣料 79人などの業態が多い。

問11-1. 万引犯罪被害の件数（確保した人数ベース）

同様に、確保した万引犯の件数については、この問いに対する有効回答367社の総件数が 21,465件、業界平均が 59件。平均件数の多い業態は、コンビニ・ミニスーパー 260件、ホームセンター・カー用品 165件、カジュアル衣料 143件、ドラッグストア 113件、などの業態が多い。

問11-1. 万引犯罪被害の金額（確保した人数ベース）

万引き犯罪被害の金額については、この問いに対する有効回答305社の総被害金額は ¥200,567,823となっている。平均金額の多い業態は、百貨店 ¥2,191,887、ドラッグストア ¥1,676,781、時計・めがね ¥738,400、呉服 ¥614,000などの業態が多い。

問11-2. 確保した万引犯の人数（性別）

確保した万引犯の男女別内訳は業界全体では、男性（33.8%）、女性（28.3%）、性別不明（37.8%）となっている。確保人数の平均は業界全体では、男性が35人、女性が29人となっている。

問12. 万引犯を確保した者の内訳

万引犯を確保した者の内訳は、業界全体では、保安警備員（81.9%）、御社の従業員（16.7%）、その他（1.1%）、お客様（0.3%）、不明（0.1%）となっている。

問13. 年間の総売上げに対する不明ロス金額の構成比

回答企業各社の決算年度における年間の不明ロス金額（万引き以外も含む不明ロスの総額）の年間総売上げに対する構成比については、直近年度で、この問いに対する有効回答220社の平均が0.41%となっている。

構成比の多い順としては、ホームセンター・カー用品（0.76%）、服飾・服飾雑貨（0.72%）、その他専門店（0.68%）、時計・めがね（0.62%）、玩具・ホビー用品（0.53%）となっている。

問13-2. 万引被害金額の増減状況

万引被害金額の増減状況については、「変わらない」154件（26.9%）、「わからない」101件（17.6%）、「やや減った」74件（12.9%）、「やや増えた」62件（10.8%）、「大変減った」23件（4%）、「大変増えた」9件（1.6%）となっている。

問13-3. 不明ロス部門別売上構成比

不明ロス部門別売上構成比については、スーパー（3.55%）、書籍・文具（2.64%）、カジュアル衣料（1.8%）、服飾・服飾雑貨（1.2%）、ホームセンター・カー用品（1.16%）、スポーツ用品（1.15%）、楽器・CD・レンタル（1.04%）、玩具・ホビー用品（0.78%）となっている。

問14. 不明ロス金額の原因別推定割合

回答企業各社における不明ロス金額の原因別の推定割合については、万引き（52.4%）、管理誤り（31.7%）、不明（10.4%）、従業員窃盗（4.4%）、業者不正（1.1%）となっている。

問15-1. 棚卸でロス率が高い店舗の指導状況

棚卸でロス率が高い店舗の指導状況については、「手を打っている」218件（38%）、「特に手を打っていない」199件（34.7%）となっている。

問16. 時期別万引被害件数

回答企業各社に万引被害件数の多い商品を、被害件数の多い順に5つの商品を記入方式で尋ねた結果、回答いただいた総商品数は、900品となった。

また、各商品について、被害の発生に時期的な偏りがあるかも併せて尋ねたところ、「CD・DVD」と「酒・たばこ」が夏場にやや多い点を除き、ほぼ通年で被害にあっていることが分かった。

第1章 全国万引実態調査について

(1) 調査の背景

小売業・サービス業店頭で急増している万引犯罪は、主としてセルフ販売を行なっている企業にとって深刻な経営問題となるのみならず、青少年の健全育成の面からも、また地域の治安維持の面からも大きな社会問題となっている。しかしながら、わが国においては、万引被害の実態は全国的には把握されておらず、それが対策の遅れをもたらす一因となっている面は否めない。近年、高齢者の万引が急増し深刻な社会問題となっている。

このような状況を踏まえ、平成17年6月設立された万引犯罪防止のための全国団体「特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構」は、平成17年度、全国の主要な小売業・サービス企業における万引被害の現状を、初めて共通の調査票で調査し業種別の実態を把握したのに続き、毎年実施し平成27年度は第11回調査を実施した。

(2) 調査の目的

主としてセルフ販売を行なっている全国の小売業・サービス業における万引被害の現状を共通の調査票で調査し、業種別の実態を把握することによって、小売業・サービス業をはじめ、警備業・防犯機器メーカー・損害保険業等関連業界に万引防止対策の基礎データを提供するとともに、行政・警察当局の防犯施策、青少年指導団体、地域社会の防犯ボランティア活動等に資することを目的とした。

一昨年度からは、特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構と警視庁・東京万引き防止官民合同会議との合同調査となっている。

(3) 調査内容

基本調査項目は次の通りである。

- ① 回答企業の業態・店舗数・年商・決算月等
- ② 万引犯罪被害の状況及び傾向
- ③ 万引犯罪発見後の処理
- ④ 万引犯罪の防止策
- ⑤ 過去にあった特徴的な万引犯罪事例
- ⑥ 万引犯罪を減らすために有効な方法
- ⑦ 警察・行政・学校・家族への要望事項
- ⑧ 東京万引き防止官民合同会議の調査依頼内容

(4) 調査実施の枠組み

- ① 調査の実施主体：昨年より東京万引き防止官民合同会議との合同調査とした。
 - ・ 特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構 調査研究委員会担当
 - ・ 東京万引き防止官民合同会議（事務局：警察庁生活安全部生活安総務課）

- ② 調査実施の協力：・警察庁生活安全局生活安全企画課、・日本小売業協会

(5) 調査対象

日本経済新聞社編「日経小売・卸売企業年鑑2006」調査台帳を基本とし、随時最新の情報に更新した掲載企業のうち、主として「セルフ販売」を採用する企業の本部を調査対象とした。(企業調査)

さらに本年は、各小売業団体からも名簿のチェックをいただき、計1,754 社(昨年計1,700 社)に調査票依頼を行った。

(6) 調査の経過

- ①本調査(平成28 年1 月15 日)

アンケートは調査票の郵送配布・郵送回収により実施した。

締切日までに回答の無かった企業には、調査票の再送とハガキによる督促を行なった。

- ③ 収状況

発送総数 1,754

倒産、合併、不明、辞退、受取拒否等 20

有効会社数 1,734

回収数 573

有効回収数 573

有効回収率 33.0%

第2章 調査結果

回答企業プロフィール

(1) 業態別分布

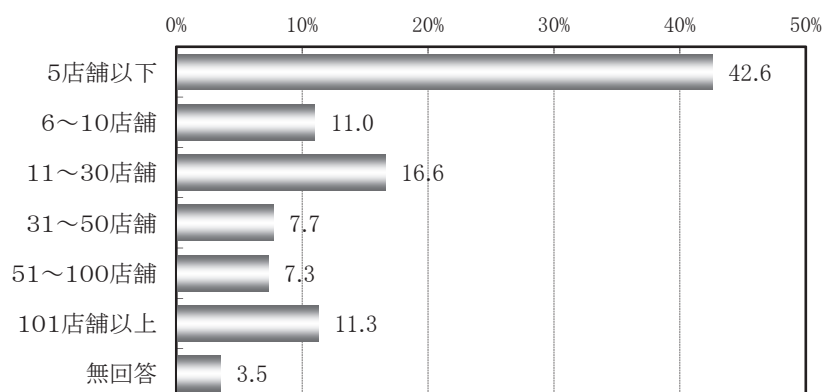
今回のアンケート回答企業573社＜前回 603社＞の業態別分布は企業数の多い順に次の通りである。

1	スーパー	161社	14	時計・めがね	5社
2	書籍・文具	102社	15	宝飾品	4社
3	楽器・CD・レンタル	73社	16	酒類	4社
4	百貨店	49社	17	紳士服	3社
5	ドラッグストア	34社	18	呉服	3社
6	その他専門店	31社	19	総合ディスカウント	3社
7	ホームセンター・カー用品	30社	20	カジュアル衣料	2社
8	婦人服・子供服	21社	21	スポーツ用品	2社
9	玩具・ホビー用品	12社	22	家電製品	1社
10	服飾・服飾雑貨	10社	23	価格均一ショップ（100円ショップ等）	1社
11	コンビニ・ミニスーパー	9社	24	生活協同組合	1社
12	靴	6社	25	家具	0社
13	生鮮	6社	26	カメラ	0社

(2) 店舗数・年商・決算月の分布

回答企業の展開している店舗数は、直近決算年度で「5店舗以下」244件（42.6%）、「11～30店舗」95件（16.6%）、「101店舗以上」65件（11.3%）、「6～10店舗」63件（11%）、「31～50店舗」44件（7.7%）、「51～100店舗」42件（7.3%）の順となっており、幅広く分布している。平均は131.3店舗。（コンビニ・ミニスーパーの平均5164.4店舗が平均店舗数を押し上げているため、店舗数の平均は大きい意味を持たない。）

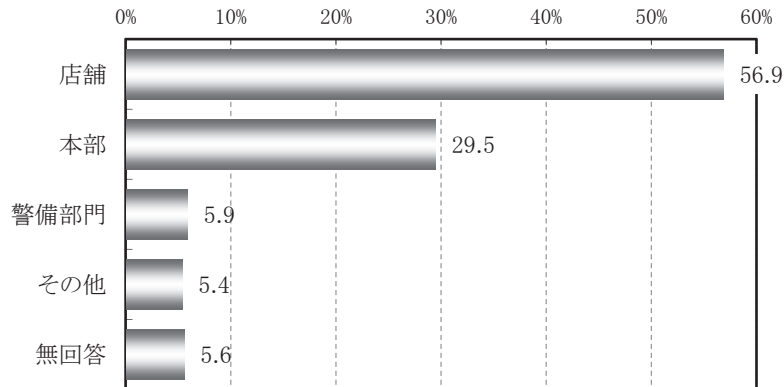
年商の単純平均は565億円＜前回513億＞、決算月の分布は「2月」143社、「3月」154社と、この2ヶ月で全体の5割を占めている。



I. 万引犯罪発見後の処理について

問1. 万引対策を担当している部署

万引対策を担当している部署については、「店舗」326件(56.9%)、「本部」169件(29.5%)、「警備部門」34件(5.9%)、「その他」31件(5.4%)となっている。

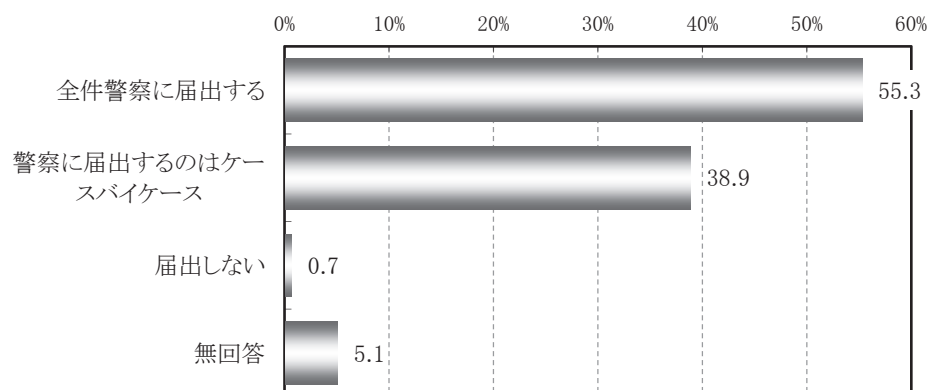


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	店舗	本部	警備部門	その他	無回答
全 体	573	56.9	29.5	5.9	5.4	5.6
スーパー	161	50.9	44.7	3.7	2.5	2.5
書籍・文具	102	78.4	14.7	—	3.9	3.9
楽器・CD・レンタル	73	83.6	4.1	2.7	1.4	11.0
百貨店	49	32.7	10.2	40.8	18.4	2.0
ドラッグストア	34	35.3	55.9	2.9	2.9	8.8
その他専門店	31	41.9	25.8	3.2	16.1	12.9
ホームセンター・カー用品	30	43.3	43.3	3.3	10.0	—
婦人服・子供服	21	52.4	28.6	4.8	9.5	4.8
玩具・ホビー用品	12	83.3	8.3	—	—	8.3
服飾・服飾雑貨	10	50.0	50.0	—	—	10.0

問２－１．万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針

万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針については、「全件警察に届出する」317件(55.3%)、「警察に届出するのはケースバイケース」223件(38.9%)、「届出しない」4件(0.7%)となっている。

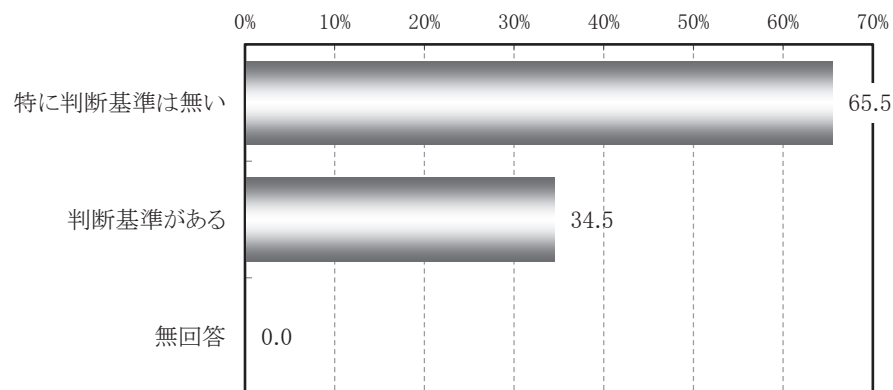


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	全件警察に届出する	警察に届出するのはケースバイケース	届出しない	無回答
全 体	573	55.3	38.9	0.7	5.1
スーパー	161	66.5	32.9	—	0.6
書籍・文具	102	55.9	39.2	—	4.9
楽器・CD・レンタル	73	45.2	41.1	1.4	12.3
百貨店	49	51.0	44.9	2.0	2.0
ドラッグストア	34	70.6	23.5	—	5.9
その他専門店	31	32.3	54.8	—	12.9
ホームセンター・カー用品	30	63.3	33.3	—	3.3
婦人服・子供服	21	28.6	61.9	4.8	4.8
玩具・ホビー用品	12	58.3	33.3	—	8.3
服飾・服飾雑貨	10	20.0	70.0	10.0	—

問２－２．警察に届ける際の判断基準の有無

警察に届ける際の判断基準の有無については、「特に判断基準は無い」146件(65.5%)、「判断基準がある」77件(34.5%)となっている。

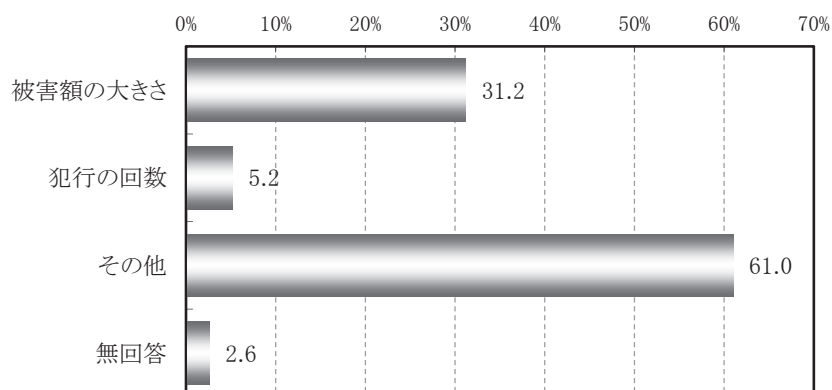


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業 態 別	回 答 企 業 数	特 に 判 断 基 準 は 無 い	判 断 基 準 が あ る	無 回 答
全 体	223	65.5	34.5	－
スーパー	53	66.0	34.0	－
書籍・文具	40	62.5	37.5	－
楽器・CD・レンタル	30	70.0	30.0	－
百貨店	22	54.5	45.5	－
ドラッグストア	8	62.5	37.5	－
その他専門店	17	82.4	17.6	－
ホームセンター・カー用品	10	70.0	30.0	－
婦人服・子供服	13	61.5	38.5	－
玩具・ホビー用品	4	75.0	25.0	－
服飾・服飾雑貨	7	85.7	14.3	－

問2－3. 基準内容

警察に届ける際の基準の内容については、「その他」47件(61%)、「被害額の大きさ」24件(31.2%)、「犯行の回数」4件(5.2%)となっている。

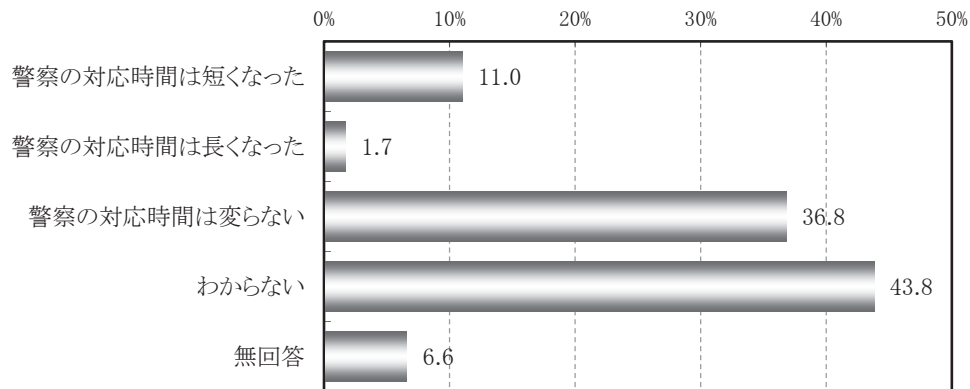


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	被害額の大きさ	犯行の回数	その他	無回答
全 体	77	31.2	5.2	61.0	2.6
スーパー	18	38.9	11.1	50.0	—
書籍・文具	15	33.3	6.7	53.3	6.7
楽器・CD・レンタル	9	—	—	88.9	11.1
百貨店	10	10.0	—	90.0	—
ドラッグストア	3	33.3	—	66.7	—
その他専門店	3	33.3	—	66.7	—
ホームセンター・カー用品	3	33.3	—	66.7	—
婦人服・子供服	5	60.0	20.0	20.0	—
玩具・ホビー用品	1	—	—	100.0	—
服飾・服飾雑貨	1	100.0	—	—	—

問3. 警察の書類作成に要する時間の変化

警察の書類作成に要する時間の変化については、「わからない」251件(43.8%)、「警察の対応時間は変わらない」211件(36.8%)、「警察の対応時間は短くなった」63件(11%)、「警察の対応時間は長くなった」10件(1.7%)となっている。



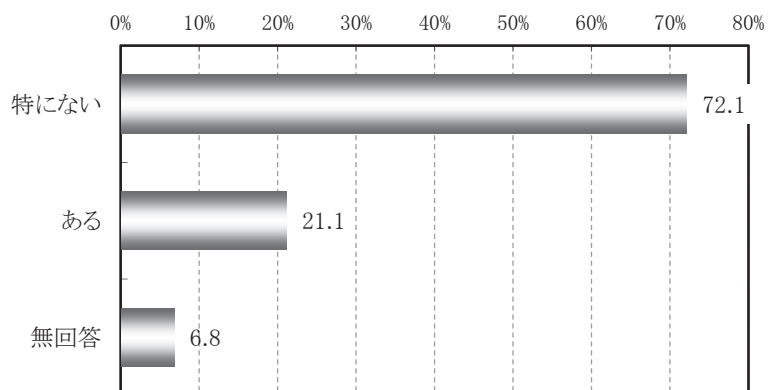
〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	警察の対応時間は短くなった	警察の対応時間は長くなった	警察の対応時間は変わらない	わからない	無回答
全 体	573	11.0	1.7	36.8	43.8	6.6
スーパー	161	13.7	3.7	47.8	33.5	1.2
書籍・文具	102	14.7	-	42.2	36.3	6.9
楽器・CD・レンタル	73	8.2	-	28.8	46.6	16.4
百貨店	49	8.2	-	59.2	30.6	2.0
ドラッグストア	34	8.8	5.9	35.3	41.2	8.8
その他専門店	31	6.5	-	6.5	74.2	12.9
ホームセンター・カー用品	30	20.0	6.7	26.7	46.7	-
婦人服・子供服	21	4.8	-	28.6	57.1	9.5
玩具・ホビー用品	12	8.3	-	16.7	66.7	8.3
服飾・服飾雑貨	10	-	-	-	100.0	-

Ⅱ. 万引犯罪の防止策について

問4－1①. 万引防止策／ハード（機器等）対策

万引防止策／ハード（機器等）対策については、「特にない」413件（72.1%）、「ある」121件（21.1%）となっている。

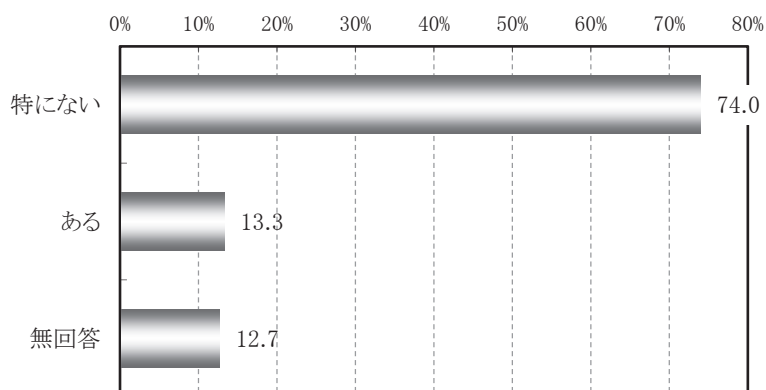


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	573	72.1	21.1	6.8
スーパー	161	65.8	31.7	2.5
書籍・文具	102	72.5	21.6	5.9
楽器・CD・レンタル	73	79.5	6.8	13.7
百貨店	49	73.5	24.5	2.0
ドラッグストア	34	58.8	29.4	11.8
その他専門店	31	77.4	9.7	12.9
ホームセンター・カー用品	30	66.7	30.0	3.3
婦人服・子供服	21	85.7	4.8	9.5
玩具・ホビー用品	12	91.7	－	8.3
服飾・服飾雑貨	10	90.0	10.0	－

問4-1②. 万引防止策／ソフト（訓練等）対策

万引防止策／ソフト（訓練等）対策については、「特にない」424件（74%）、「ある」76件（13.3%）となっている。

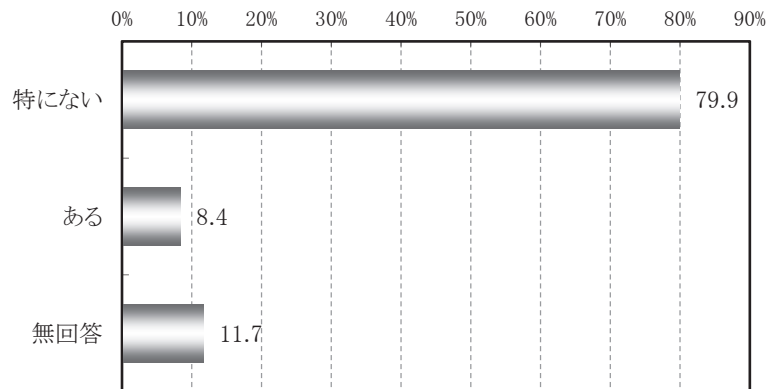


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	573	74.0	13.3	12.7
スーパー	161	73.3	15.5	11.2
書籍・文具	102	78.4	12.7	8.8
楽器・CD・レンタル	73	74.0	6.8	19.2
百貨店	49	69.4	28.6	2.0
ドラッグストア	34	64.7	20.6	14.7
その他専門店	31	64.5	9.7	25.8
ホームセンター・カー用品	30	86.7	3.3	10.0
婦人服・子供服	21	66.7	9.5	23.8
玩具・ホビー用品	12	83.3	-	16.7
服飾・服飾雑貨	10	70.0	20.0	10.0

問4－1③. 万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策

万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策については、「特にない」458件(79.9%)、「ある」48件(8.4%)となっている。

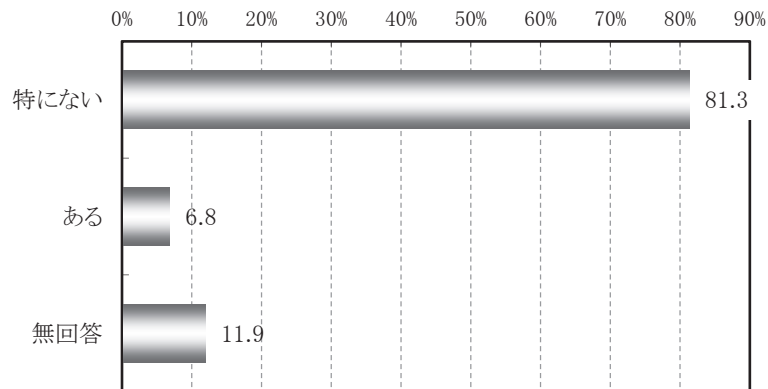


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	573	79.9	8.4	11.7
スーパー	161	77.6	12.4	9.9
書籍・文具	102	89.2	3.9	6.9
楽器・CD・レンタル	73	79.5	1.4	19.2
百貨店	49	69.4	28.6	2.0
ドラッグストア	34	76.5	8.8	14.7
その他専門店	31	74.2	－	25.8
ホームセンター・カー用品	30	83.3	6.7	10.0
婦人服・子供服	21	71.4	14.3	14.3
玩具・ホビー用品	12	83.3	－	16.7
服飾・服飾雑貨	10	90.0	－	10.0

問４－１④. 万引防止策／高齢者の万引防止策

万引防止策／高齢者の万引防止策については、「特にない」466件(81.3%)、「ある」39件(6.8%)となっている。

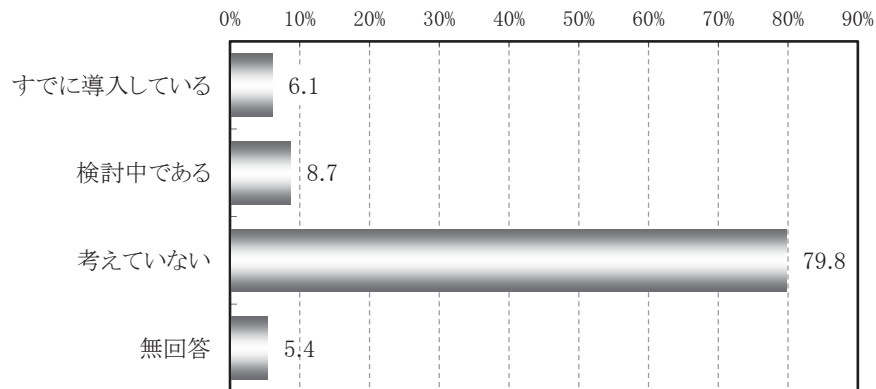


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	573	81.3	6.8	11.9
スーパー	161	77.0	14.3	8.7
書籍・文具	102	86.3	4.9	8.8
楽器・CD・レンタル	73	78.1	1.4	20.5
百貨店	49	89.8	8.2	2.0
ドラッグストア	34	82.4	2.9	14.7
その他専門店	31	74.2	－	25.8
ホームセンター・カー用品	30	80.0	10.0	10.0
婦人服・子供服	21	81.0	4.8	14.3
玩具・ホビー用品	12	83.3	－	16.7
服飾・服飾雑貨	10	90.0	－	10.0

問４－２．顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入について

顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入については、「考えていない」457件(79.8%)、「検討中である」50件(8.7%)、「すでに導入している」35件(6.1%)となっている。

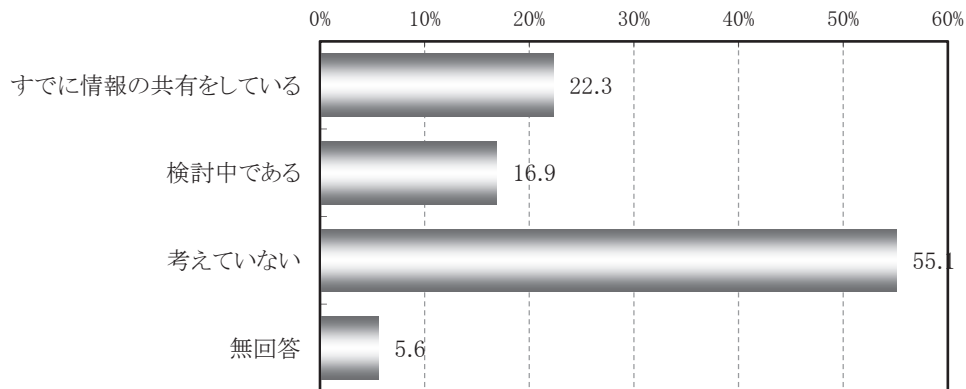


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	すでに導入している	検討中である	考えていない	無回答
全 体	573	6.1	8.7	79.8	5.4
スーパー	161	3.7	13.0	81.4	1.9
書籍・文具	102	9.8	4.9	81.4	3.9
楽器・CD・レンタル	73	5.5	1.4	80.8	12.3
百貨店	49	4.1	20.4	73.5	2.0
ドラッグストア	34	2.9	11.8	79.4	5.9
その他専門店	31	6.5	-	80.6	12.9
ホームセンター・カー用品	30	13.3	6.7	80.0	-
婦人服・子供服	21	4.8	-	90.5	4.8
玩具・ホビー用品	12	-	25.0	66.7	8.3
服飾・服飾雑貨	10	-	10.0	90.0	-

問４－３．集団窃盗対策として、同業者との情報共有について

集団窃盗対策として、同業者との情報共有については、「考えていない」316件(55.1%)、「すでに情報の共有をしている」128件(22.3%)、「検討中である」97件(16.9%)となっている。

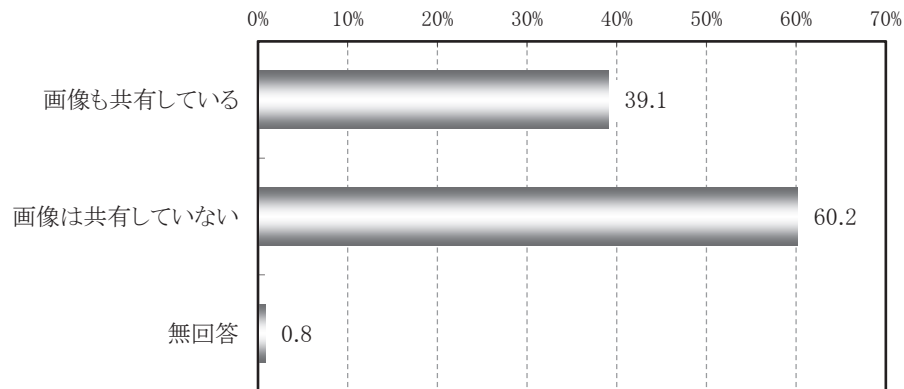


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	すでに情報の共有をしている	検討中である	考えていない	無回答
全 体	573	22.3	16.9	55.1	5.6
スーパー	161	21.1	17.4	59.6	1.9
書籍・文具	102	25.5	21.6	49.0	3.9
楽器・CD・レンタル	73	15.1	9.6	63.0	12.3
百貨店	49	46.9	18.4	32.7	2.0
ドラッグストア	34	35.3	32.4	26.5	5.9
その他専門店	31	9.7	6.5	71.0	12.9
ホームセンター・カー用品	30	16.7	26.7	56.7	-
婦人服・子供服	21	19.0	4.8	66.7	9.5
玩具・ホビー用品	12	-	8.3	83.3	8.3
服飾・服飾雑貨	10	-	10.0	90.0	-

問４－４．犯人が映っている画像の共有

犯人が映っている画像の共有については、「画像は共有していない」77件(60.2%)、「画像も共有している」50件(39.1%)となっている。

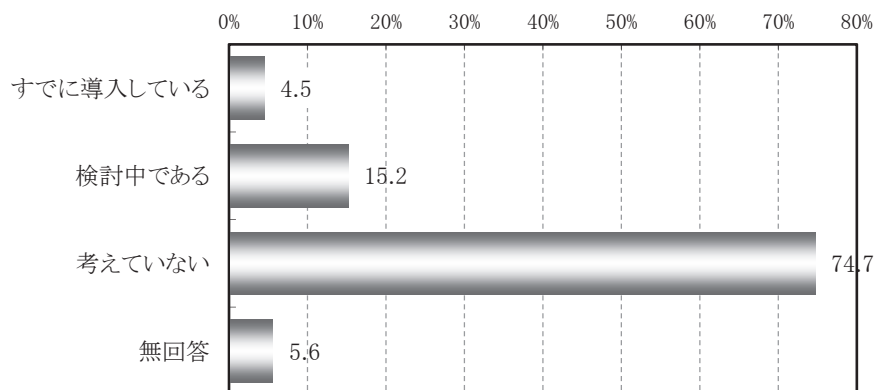


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	画像も共有している	画像は共有していない	無回答
全 体	128	39.1	60.2	0.8
スーパー	34	32.4	67.6	—
書籍・文具	26	38.5	61.5	—
楽器・CD・レンタル	11	54.5	45.5	—
百貨店	23	60.9	39.1	—
ドラッグストア	12	16.7	83.3	—
その他専門店	3	33.3	66.7	—
ホームセンター・カー用品	5	20.0	80.0	—
婦人服・子供服	4	—	75.0	25.0
玩具・ホビー用品	—	—	—	—
服飾・服飾雑貨	—	—	—	—

問5－1. 捕捉にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求について

捕捉にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求については、「考えていない」428件（74.7%）、
「検討中である」87件（15.2%）、「すでに導入している」26件（4.5%）となっている。

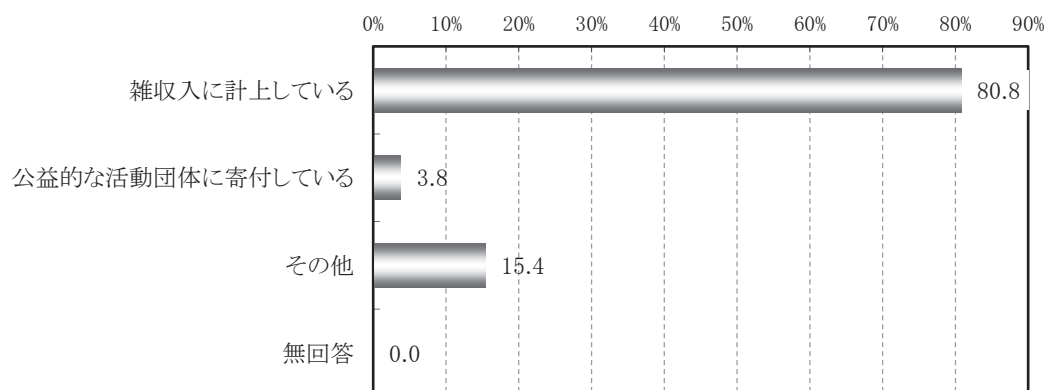


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	すでに導入している	検討中である	考えていない	無回答
全 体	573	4.5	15.2	74.7	5.6
スーパー	161	5.6	13.7	80.1	0.6
書籍・文具	102	11.8	21.6	61.8	4.9
楽器・CD・レンタル	73	1.4	12.3	74.0	12.3
百貨店	49	-	6.1	91.8	2.0
ドラッグストア	34	2.9	29.4	61.8	5.9
その他専門店	31	-	12.9	71.0	16.1
ホームセンター・カー用品	30	-	10.0	86.7	3.3
婦人服・子供服	21	-	4.8	90.5	4.8
玩具・ホビー用品	12	8.3	16.7	58.3	16.7
服飾・服飾雑貨	10	10.0	20.0	70.0	-

問5－2. 損害賠償請求で得た利益について

損害賠償請求で得た利益については、「雑収入に計上している」21件(80.8%)、「その他」4件(15.4%)、「公益的な活動団体に寄付している」1件(3.8%)となっている。

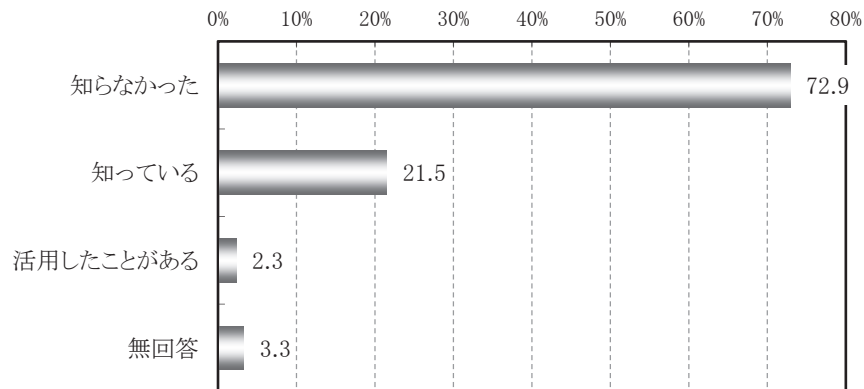


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	雑収入に計上している	公益的な活動団体に寄付している	その他	無回答
全 体	26	80.8	3.8	15.4	—
スーパー	9	66.7	—	33.3	—
書籍・文具	12	83.3	8.3	8.3	—
楽器・CD・レンタル	1	100.0	—	—	—
百貨店	—	—	—	—	—
ドラッグストア	1	100.0	—	—	—
その他専門店	—	—	—	—	—
ホームセンター・カー用品	—	—	—	—	—
婦人服・子供服	—	—	—	—	—
玩具・ホビー用品	1	100.0	—	—	—
服飾・服飾雑貨	1	100.0	—	—	—

問6－1．被害者等通知制度の認知

被害者等通知制度の認知については、「知らなかった」418件(72.9%)、「知っている」123件(21.5%)、「活用したことがある」13件(2.3%)となっている。

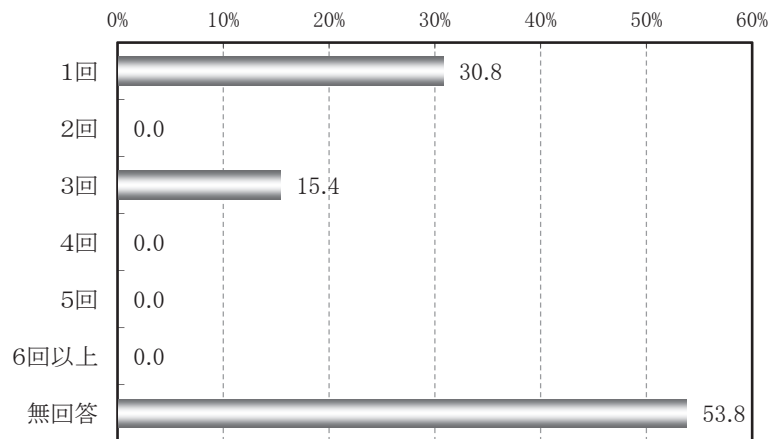


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	知らなかった	知っている	活用したことがある	無回答
全 体	573	72.9	21.5	2.3	3.3
スーパー	161	73.3	23.6	1.9	1.2
書籍・文具	102	83.3	11.8	2.9	2.0
楽器・CD・レンタル	73	82.2	9.6	—	8.2
百貨店	49	49.0	46.9	4.1	—
ドラッグストア	34	58.8	35.3	2.9	2.9
その他専門店	31	67.7	12.9	6.5	12.9
ホームセンター・カー用品	30	70.0	30.0	—	—
婦人服・子供服	21	76.2	14.3	—	9.5
玩具・ホビー用品	12	58.3	25.0	16.7	—
服飾・服飾雑貨	10	70.0	30.0	—	—

問6－2．昨年、被害者等通知制度を活用された回数

昨年、被害者等通知制度を活用された回数については、「1回」4件（30.8%）、「3回」2件（15.4%）となっている。

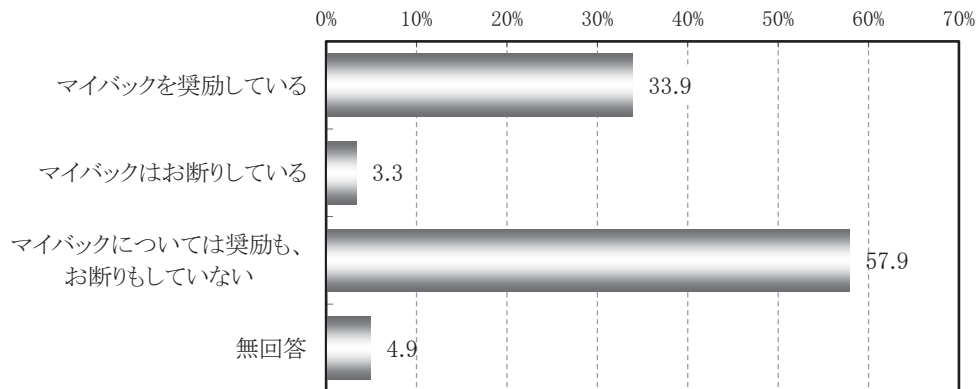


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	無回答
全 体	13	30.8	－	15.4	－	－	－	53.8
スーパー	3	－	－	33.3	－	－	－	66.7
書籍・文具	3	33.3	－	33.3	－	－	－	33.3
楽器・CD・レンタル	－	－	－	－	－	－	－	－
百貨店	2	50.0	－	－	－	－	－	50.0
ドラッグストア	1	100.0	－	－	－	－	－	－
その他専門店	2	－	－	－	－	－	－	100.0
ホームセンター・カー用品	－	－	－	－	－	－	－	－
婦人服・子供服	－	－	－	－	－	－	－	－
玩具・ホビー用品	2	50.0	－	－	－	－	－	50.0
服飾・服飾雑貨	－	－	－	－	－	－	－	－

問7. マイバックについて

マイバックについては、「マイバックについては奨励も、お断りもしていない」332件(57.9%)、「マイバックを奨励している」194件(33.9%)、「マイバックはお断りしている」19件(3.3%)となっている。



〔経年比較表〕

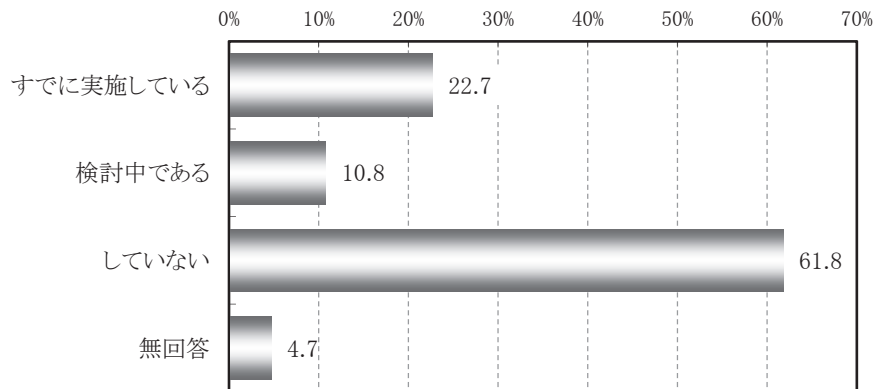
回数(年度)	マイバックを奨励している	マイバックはお断りしている	マイバックについては奨励も、お断りもしていない	無回答
第11回(平成27年度)	33.9	3.3	57.9	4.9
第10回(平成26年度)	37.0	4.0	56.6	2.5
第9回(平成25年度)	38.9	5.8	53.6	1.6

〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	マイバックを奨励している	マイバックはお断りしている	マイバックについては奨励も、お断りもしていない	無回答
全 体	573	33.9	3.3	57.9	4.9
スーパー	161	80.7	-	18.6	0.6
書籍・文具	102	4.9	5.9	86.3	2.9
楽器・CD・レンタル	73	6.8	8.2	72.6	12.3
百貨店	49	53.1	2.0	44.9	-
ドラッグストア	34	35.3	5.9	50.0	8.8
その他専門店	31	-	3.2	77.4	19.4
ホームセンター・カー用品	30	13.3	3.3	80.0	3.3
婦人服・子供服	21	9.5	-	76.2	14.3
玩具・ホビー用品	12	-	-	100.0	-
服飾・服飾雑貨	10	-	-	100.0	-

問8. 万引窃盗犯の「店内確保」について

万引窃盗犯の「店内確保」については、「していない」354件(61.8%)、「すでに実施している」130件(22.7%)、「検討中である」62件(10.8%)となっている。

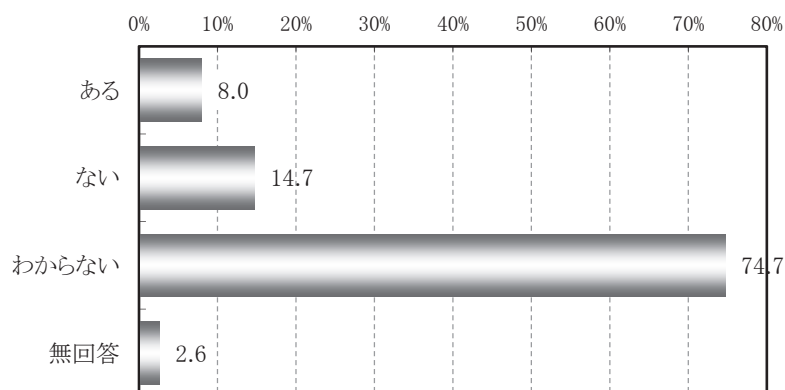


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業 態 別	回 答 企 業 数	す で に 実 施 し て い る	検 討 中 で あ る	し て い な い	無 回 答
全 体	573	22.7	10.8	61.8	4.7
スーパー	161	19.3	6.2	73.3	1.2
書籍・文具	102	44.1	13.7	39.2	2.9
楽器・CD・レンタル	73	34.2	6.8	49.3	9.6
百貨店	49	20.4	14.3	65.3	-
ドラッグストア	34	8.8	20.6	64.7	5.9
その他専門店	31	9.7	12.9	54.8	22.6
ホームセンター・カー用品	30	6.7	13.3	76.7	3.3
婦人服・子供服	21	9.5	14.3	61.9	14.3
玩具・ホビー用品	12	50.0	8.3	41.7	-
服飾・服飾雑貨	10	-	-	100.0	-

問9－1. 万引された商品がネットに出品されたこと

万引された商品がネットオークションに出品されたことについては、「わからない」428件(74.7%)、「ない」84件(14.7%)、「ある」46件(8%)となっている。

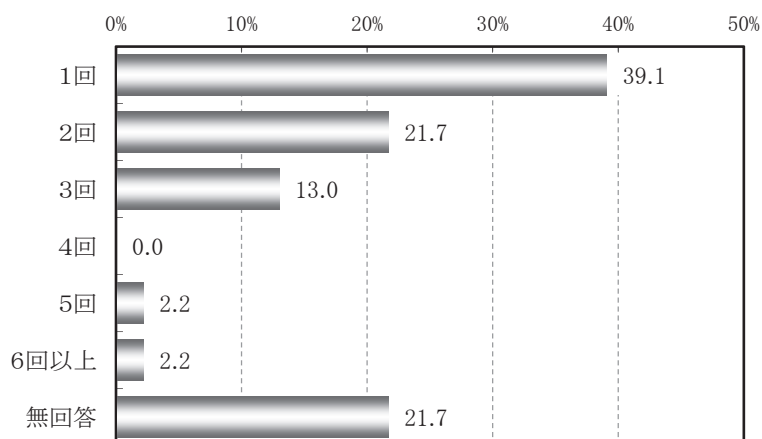


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	ある	ない	わからない	無回答
全 体	573	8.0	14.7	74.7	2.6
スーパー	161	3.1	24.8	72.0	-
書籍・文具	102	12.7	2.9	83.3	1.0
楽器・CD・レンタル	73	2.7	11.0	79.5	6.8
百貨店	49	14.3	18.4	67.3	-
ドラッグストア	34	17.6	-	79.4	2.9
その他専門店	31	9.7	25.8	48.4	16.1
ホームセンター・カー用品	30	16.7	13.3	70.0	-
婦人服・子供服	21	4.8	23.8	61.9	9.5
玩具・ホビー用品	12	-	-	100.0	-
服飾・服飾雑貨	10	10.0	-	90.0	-

問9-2. 万引された商品がネットに出品された回数

万引きされた商品がネットオークションに出品された回数については、「1回」18件(39.1%)、「2回」10件(21.7%)、「3回」6件(13%)、「5回」1件(2.2%)、「6回以上」1件(2.2%)となっている。

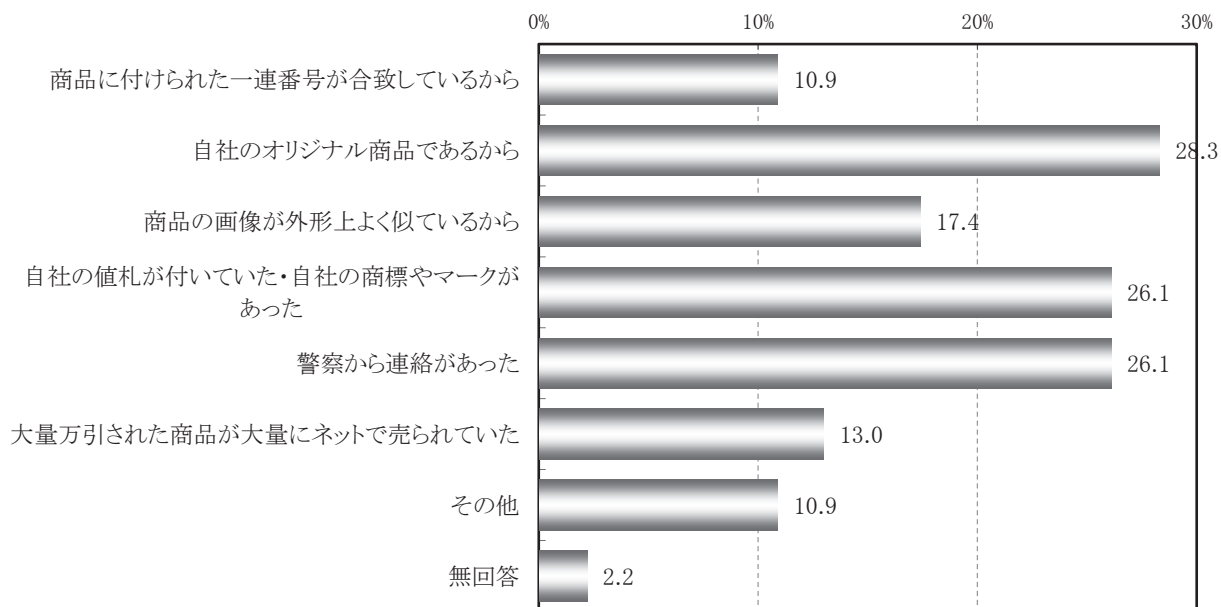


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	無回答
全 体	46	39.1	21.7	13.0	-	2.2	2.2	21.7
スーパー	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-
書籍・文具	13	30.8	15.4	15.4	-	-	7.7	30.8
楽器・CD・レンタル	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
百貨店	7	71.4	14.3	-	-	-	-	14.3
ドラッグストア	6	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
その他専門店	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-
ホームセンター・カー用品	5	60.0	20.0	-	-	-	-	20.0
婦人服・子供服	1	-	-	-	-	-	-	100.0
玩具・ホビー用品	-	-	-	-	-	-	-	-
服飾・服飾雑貨	1	-	-	-	-	-	-	100.0

問9-3. 万引商品であると判断した理由

万引商品であると判断した理由については、「自社のオリジナル商品であるから」13件(28.3%)、「自社の値札が付いていた・自社の商標やマークがあった」12件(26.1%)、「警察から連絡があった」12件(26.1%)、「商品の画像が外形上よく似ているから」8件(17.4%)、「大量万引された商品が大量にネットで売られていた」6件(13%)、「商品に付けられた一連番号が合致しているから」5件(10.9%)、「その他」5件(10.9%)となっている。

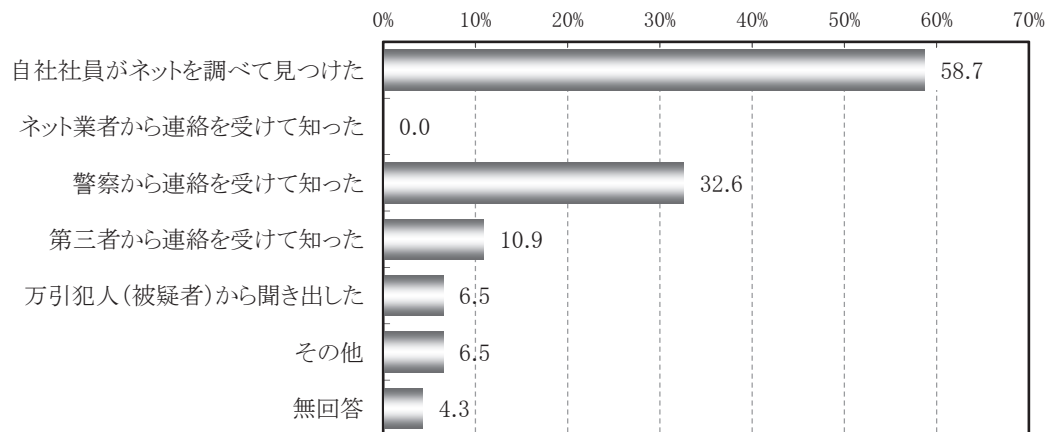


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	商品番号が合致している	自社のオリジナル商品	商品の画像が外形上よく似ている	自社の値札・商標・マークがあった	警察から連絡があった	大量万引された商品が大量にネットで売られていた	その他	無回答
全 体	46	10.9	28.3	17.4	26.1	26.1	13.0	10.9	2.2
スーパー	5	-	40.0	20.0	-	60.0	20.0	-	-
書籍・文具	13	-	7.7	38.5	-	30.8	7.7	7.7	7.7
楽器・CD・レンタル	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
百貨店	7	28.6	28.6	-	28.6	28.6	-	28.6	-
ドラッグストア	6	-	33.3	-	66.7	33.3	16.7	16.7	-
その他専門店	3	-	33.3	-	33.3	-	66.7	-	-
ホームセンター・カー用品	5	40.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-
婦人服・子供服	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
玩具・ホビー用品	-	-	-	-	-	-	-	-	-
服飾・服飾雑貨	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-

問9－4．出品を知った経緯

出品を知った経緯については、「自社社員がネットを調べて見つけた」27件(58.7%)、「警察から連絡を受けて知った」15件(32.6%)、「第三者から連絡を受けて知った」5件(10.9%)、「万引犯人(被疑者)から聞き出した」3件(6.5%)、「その他」3件(6.5%)となっている。

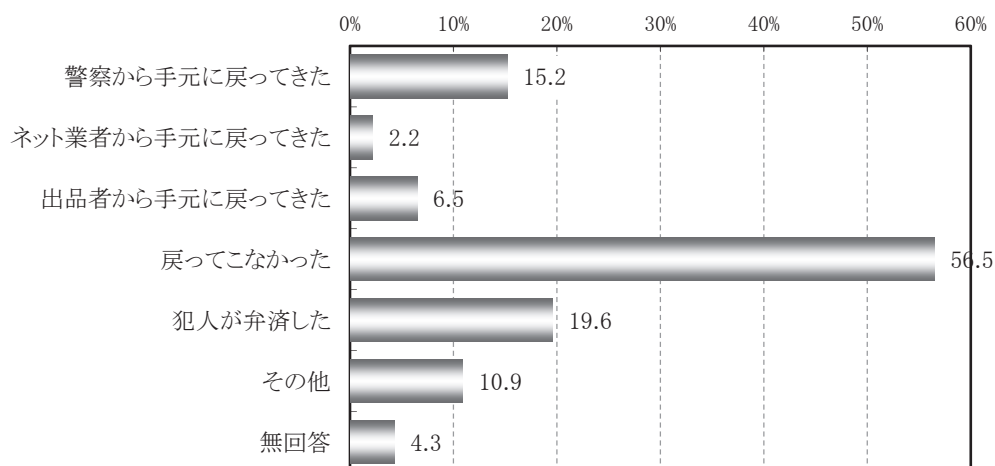


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	自社社員がネットを調べて見つけた	ネット業者から連絡を受けて知った	警察から連絡を受けて知った	第三者から連絡を受けて知った	万引犯人(被疑者)から聞き出した	その他	無回答
全 体	46	58.7	—	32.6	10.9	6.5	6.5	4.3
スーパー	5	40.0	—	60.0	—	—	20.0	—
書籍・文具	13	53.8	—	38.5	7.7	7.7	—	7.7
楽器・CD・レンタル	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—
百貨店	7	57.1	—	28.6	—	—	14.3	14.3
ドラッグストア	6	66.7	—	33.3	33.3	16.7	16.7	—
その他専門店	3	66.7	—	33.3	—	—	—	—
ホームセンター・カー用品	5	60.0	—	20.0	20.0	—	—	—
婦人服・子供服	1	100.0	—	—	—	—	—	—
玩具・ホビー用品	—	—	—	—	—	—	—	—
服飾・服飾雑貨	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—

問9－5. 被害品のその後

被害品のその後については、「戻ってこなかった」26件(56.5%)、「犯人が弁済した」9件(19.6%)、「警察から手元に戻ってきた」7件(15.2%)、「その他」5件(10.9%)、「出品者から手元に戻ってきた」3件(6.5%)、「ネット業者から手元に戻ってきた」1件(2.2%)となっている。

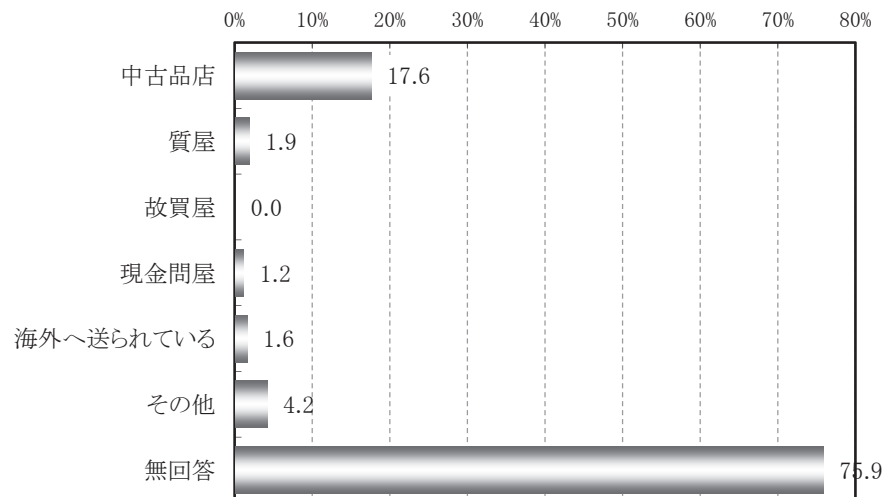


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	警察から手元に戻ってきた	ネット業者から手元に戻ってきた	出品者から手元に戻ってきた	戻ってこなかった	犯人が弁済した	その他	無回答
全 体	46	15.2	2.2	6.5	56.5	19.6	10.9	4.3
スーパー	5	20.0	-	20.0	60.0	-	20.0	-
書籍・文具	13	15.4	7.7	-	46.2	30.8	7.7	7.7
楽器・CD・レンタル	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-
百貨店	7	42.9	-	-	28.6	14.3	28.6	-
ドラッグストア	6	-	-	-	66.7	16.7	-	16.7
その他専門店	3	-	-	-	100.0	-	-	-
ホームセンター・カー用品	5	20.0	-	-	80.0	-	-	-
婦人服・子供服	1	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-
玩具・ホビー用品	-	-	-	-	-	-	-	-
服飾・服飾雑貨	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-

問10-1. インターネット以外で処分先の目星

インターネット以外で処分先の目星については、「中古品店」101件(17.6%)、「その他」24件(4.2%)、「質屋」11件(1.9%)、「海外へ送られている」9件(1.6%)、「現金問屋」7件(1.2%)となっている。



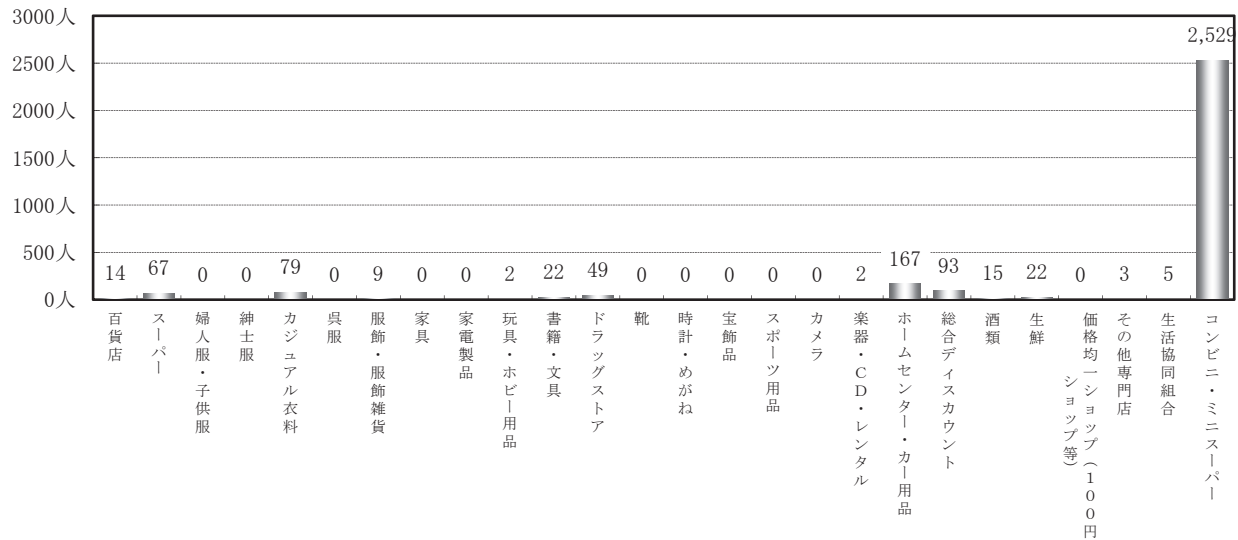
〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	中古品店	質屋	故買屋	現金問屋	海外へ送られている	その他	無回答
全 体	573	17.6	1.9	—	1.2	1.6	4.2	75.9
スーパー	161	2.5	0.6	—	1.2	—	5.6	90.7
書籍・文具	102	51.0	—	—	—	—	3.9	47.1
楽器・CD・レンタル	73	27.4	2.7	—	—	—	4.1	67.1
百貨店	49	12.2	8.2	—	2.0	—	4.1	79.6
ドラッグストア	34	—	—	—	8.8	20.6	—	79.4
その他専門店	31	3.2	—	—	—	—	—	96.8
ホームセンター・カー用品	30	23.3	10.0	—	—	—	10.0	63.3
婦人服・子供服	21	9.5	—	—	—	4.8	—	90.5
玩具・ホビー用品	12	33.3	8.3	—	—	—	—	58.3
服飾・服飾雑貨	10	20.0	—	—	—	—	20.0	70.0

Ⅲ. 万引犯罪被害の状況及び傾向について

問 1 1 - 1. 確保した万引犯の人数（確保した人数ベース）

確保した万引犯の人数については、この問いに対する有効回答 399社の総人数が 18,320人、業界平均が 46人。平均人数の多い業態は、コンビニ・ミニスーパー 2529人、ホームセンター・カー用品 167人、総合ディスカウント 93人、カジュアル衣料 79人などの業態が多い。

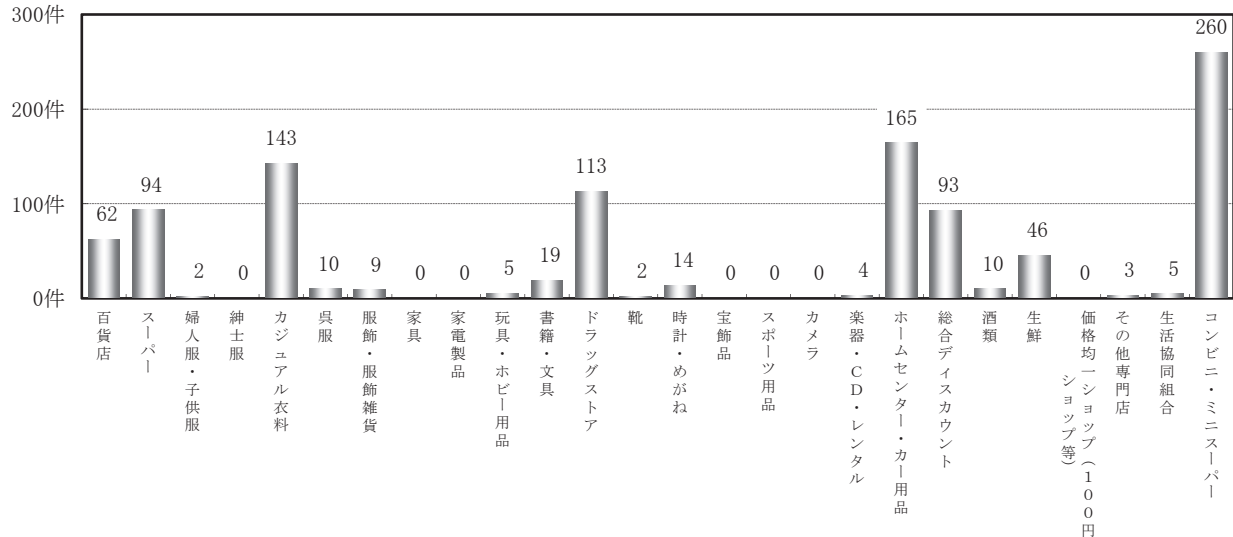


〔経年比較表／業態別比較表〕

業態別	第11回 (平成27年度)				第10回 (平成26年度)	第9回 (平成25年度)
	回答 企業 数	有効 企業 数	確保 人数	1 社 平 均	1 社 平 均	1 社 平 均
全 体	573	399	18,320	46	74	79
百貨店	49	42	578	14	59	29
スーパー	161	127	8,521	67	106	162
婦人服・子供服	21	7	2	0	6	1
紳士服	3	1	0	0	0	-
カジュアル衣料	2	2	158	79	29	1
呉服	3	0	0	0	0	4
服飾・服飾雑貨	10	6	54	9	9	5
家具	-	-	-	-	3	30
家電製品	1	1	0	0	0	0
玩具・ホビー用品	12	7	11	2	3	5
書籍・文具	102	73	1,636	22	33	37
ドラッグストア	34	22	1,081	49	140	45
靴	6	3	0	0	1	0
時計・めがね	5	3	0	0	8	0
宝飾品	4	2	0	0	0	0
スポーツ用品	2	1	0	0	0	-
カメラ	-	-	-	-	-	-
楽器・CD・レンタル	73	51	122	2	5	4
ホームセンター・カー用品	30	19	3,163	167	389	263
総合ディスカウント	3	3	280	93	0	-
酒類	4	2	30	15	0	1
生鮮	6	4	86	22	32	0
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	0	0	0	0	0
その他専門店	31	21	64	3	18	3
生活協同組合	1	1	5	5	17	-
コンビニ・ミニスーパー	9	1	2,529	2,529	162	155

問 1 1 - 2. 万引犯罪被害の件数（確保した人数ベース）

同様に、確保した万引犯の件数については、この問いに対する有効回答367社の総件数が21,465件、業界平均が59件。平均件数の多い業態は、コンビニ・ミニスーパー 260件、ホームセンター・カー用品 165件、カジュアル衣料 143件、ドラッグストア 113件、などの業態が多い。

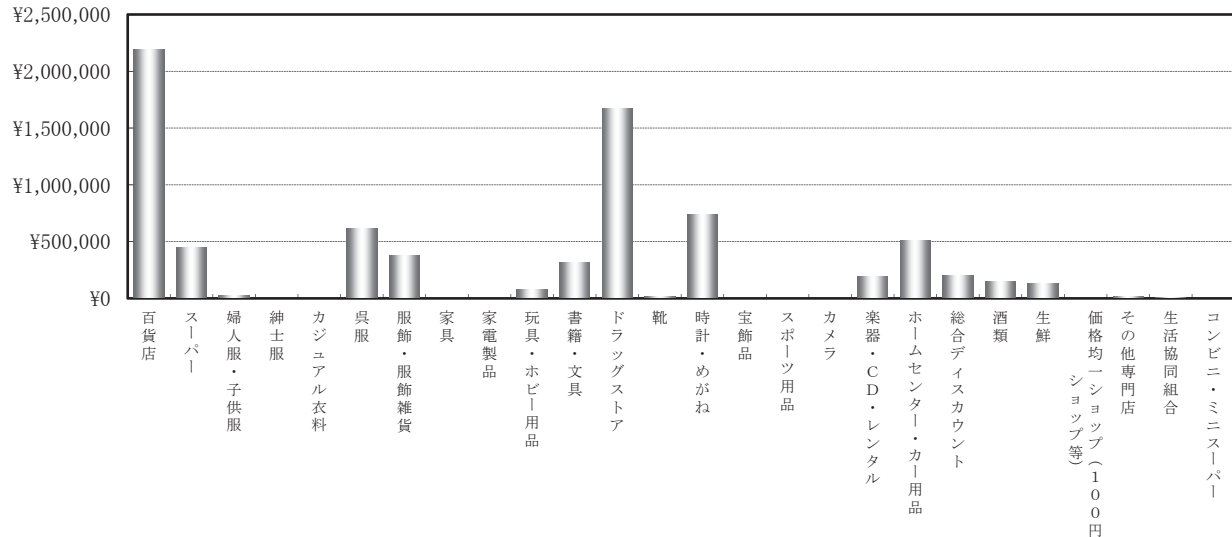


〔経年比較表／業態別比較表〕

業態別	第11回 (平成27年度)				第10回 (平成26年度)	第9回 (平成25年度)
	回答 企業 数	有効 企業 数	総被 害件 数	1社 平均	1社 平均	1社 平均
全 体	573	367	21,465	59	56	94
百貨店	49	44	2,743	62	17	74
スーパー	161	118	11,044	94	112	149
婦人服・子供服	21	7	13	2	2	4
紳士服	3	1	0	0	0	-
カジュアル衣料	2	2	286	143	0	3
呉服	3	1	10	10	0	6
服飾・服飾雑貨	10	6	54	9	3	23
家具	0	0	0	0	20	30
家電製品	1	1	0	0	35	0
玩具・ホビー用品	12	5	26	5	3	8
書籍・文具	102	64	1,239	19	27	42
ドラッグストア	34	22	2,486	113	60	125
靴	6	3	6	2	1	0
時計・めがね	5	4	56	14	1	0
宝飾品	4	2	0	0	0	0
スポーツ用品	2	0	0	0	0	40
カメラ	0	0	0	0	-	-
楽器・CD・レンタル	73	43	149	4	3	5
ホームセンター・カー用品	30	16	2,633	165	232	375
総合ディスカウント	3	3	280	93	0	-
酒類	4	3	30	10	0	1
生鮮	6	2	91	46	32	0
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	0	0	0	0	0
その他専門店	31	18	54	3	5	21
生活協同組合	1	1	5	5	17	-
コンビニ・ミニスーパー	9	1	260	260	163	176

問 1 1 - 3. 万引犯罪被害の金額（確保した人数ベース）

万引き犯罪被害の金額については、この問いに対する有効回答305社の総被害金額は ¥200,567,823となっている。平均金額の多い業態は、百貨店 ¥2,191,887、ドラッグストア ¥1,676,781、時計・めがね ¥738,400、呉服 ¥614,000などの業態が多い。

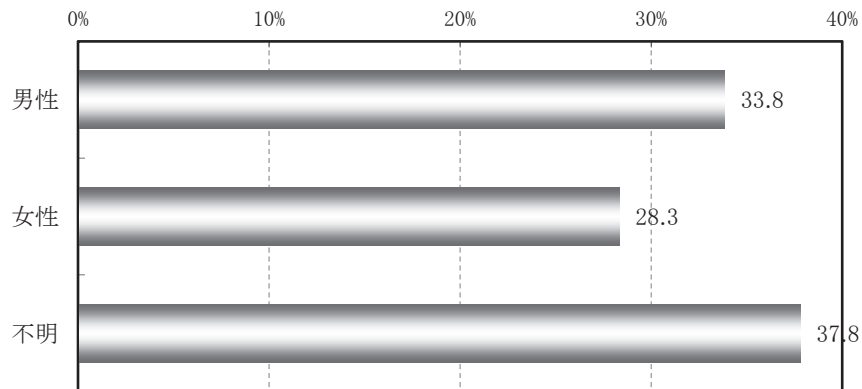


〔経年比較表／業態別比較表〕

業態別	第11回 (平成27年度)			
	回答 企業 数	有効 企業 数	総 被害 金額	1 社 平 均
全 体	573	305	¥200,567,823	¥657,599
百貨店	49	39	¥85,483,581	¥2,191,887
スーパー	161	93	¥41,937,134	¥450,937
婦人服・子供服	21	6	¥130,800	¥21,800
紳士服	3	1	¥0	¥0
カジュアル衣料	2	1	¥0	¥0
呉服	3	1	¥614,000	¥614,000
服飾・服飾雑貨	10	5	¥1,905,889	¥381,178
家具	-	-	-	-
家電製品	1	1	¥0	¥0
玩具・ホビー用品	12	4	¥320,000	¥80,000
書籍・文具	102	55	¥17,619,288	¥320,351
ドラッグストア	34	21	¥35,212,405	¥1,676,781
靴	6	3	¥60,000	¥20,000
時計・めがね	5	4	¥2,953,600	¥738,400
宝飾品	4	1	¥0	¥0
スポーツ用品	2	0	¥0	¥0
カメラ	-	-	-	-
楽器・CD・レンタル	73	36	¥6,966,500	¥193,514
ホームセンター・カー用品	30	12	¥6,159,178	¥513,265
総合ディスカウント	3	3	¥600,000	¥200,000
酒類	4	1	¥150,000	¥150,000
生鮮	6	1	¥135,448	¥135,448
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	0	¥0	¥0
その他専門店	31	16	¥310,000	¥19,375
生活協同組合	1	1	¥10,000	¥10,000
コンビニ・ミニスーパー	9	0	¥0	¥0

問11-4. 確保した万引犯の人数（性別）

確保した万引犯の男女別内訳は業界全体では、男性(33.8%)、女性(28.3%)、性別不明(37.8%)となっている。確保人数の平均は業界全体では、男性が35人、女性が29人となっている。

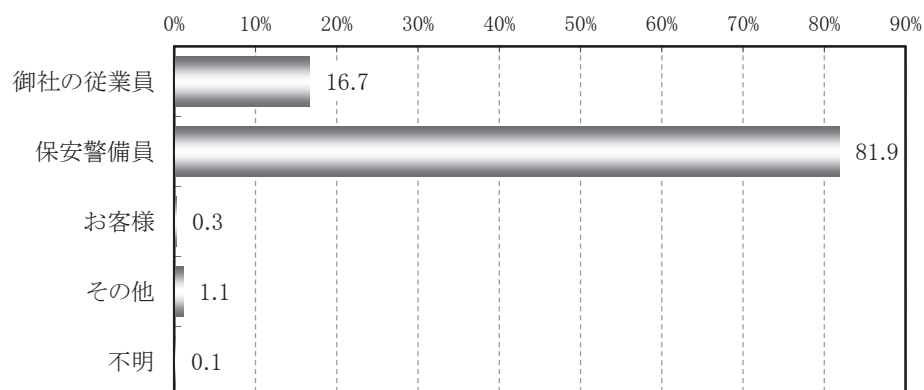


〔業態別比較表〕(平均人数・男女内訳)

業態別	確保された平均人数			男女構成比		
	男性	女性	不明	男性	女性	不明
全 体	35	29	39	33.8	28.3	37.8
百貨店	7	12	0	37.2	62.8	0.0
スーパー	53	45	52	35.6	29.9	34.5
婦人服・子供服	0	1	0	0.0	100.0	0.0
紳士服	0	0	0	0.0	0.0	0.0
カジュアル衣料	74	84	0	46.8	53.2	0.0
呉服	0	0	0	0.0	0.0	0.0
服飾・服飾雑貨	1	2	20	3.5	9.6	87.0
家具	0	0	0	0.0	0.0	0.0
家電製品	0	0	0	0.0	0.0	0.0
玩具・ホビー用品	9	1	0	90.0	10.0	0.0
書籍・文具	10	7	79	10.6	7.6	81.8
ドラッグストア	35	41	12	39.7	46.7	13.5
靴	0	0	0	0.0	0.0	0.0
時計・めがね	0	0	0	0.0	0.0	0.0
宝飾品	0	0	0	0.0	0.0	0.0
スポーツ用品	0	0	0	0.0	0.0	0.0
カメラ	0	0	0	0.0	0.0	0.0
楽器・CD・レンタル	4	1	1	72.9	18.6	8.5
ホームセンター・カー用品	172	60	208	39.0	13.6	47.3
総合ディスカウント	88	53	0	62.5	37.5	0.0
酒類	15	15	0	50.0	50.0	0.0
生鮮	25	18	0	58.1	41.9	0.0
価格均一ショップ(100円ショップ等)	0	0	0	0.0	0.0	0.0
その他専門店	5	6	0	42.9	57.1	0.0
生活協同組合	3	2	0	60.0	40.0	0.0
コンビニ・ミニスーパー	0	0	0	0.0	0.0	0.0

問 1 2. 万引犯を確保した者の内訳

万引犯を確保した者の内訳は、業界全体では、保安警備員(81.9%)、御社の従業員(16.7%)、その他(1.1%)、お客様(0.3%)、不明(0.1%)となっている。



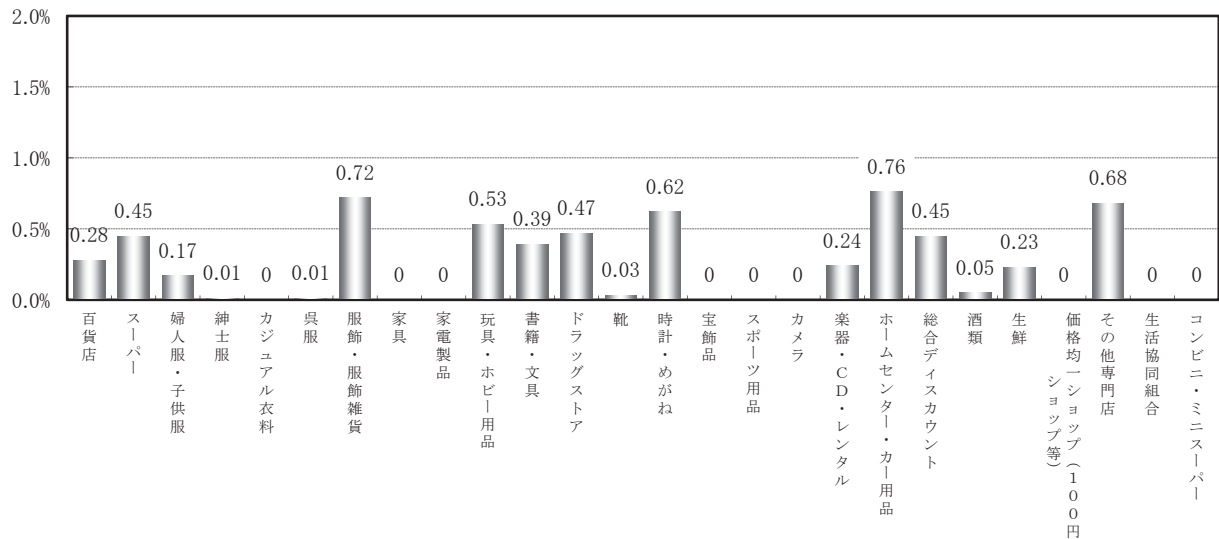
〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	御社の従業員	保安警備員	お客様	その他	不明
全 体	573	16.7	81.9	0.3	1.1	0.1
スーパー	161	6.9	92.3	0.3	0.4	0.2
書籍・文具	102	60.8	33.1	0.1	5.9	0.0
楽器・CD・レンタル	73	65.3	28.0	0.8	4.2	1.7
百貨店	49	67.0	31.4	0.6	1.1	0.0
ドラッグストア	34	12.0	86.3	0.1	1.7	0.0
その他専門店	31	7.9	87.3	0.0	4.8	0.0
ホームセンター・カー用品	30	5.3	94.0	0.0	0.7	0.0
婦人服・子供服	21	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
玩具・ホビー用品	12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
服飾・服飾雑貨	10	23.1	7.7	0.0	69.2	0.0

問 1 3. 年間の総売上げに対する不明ロス金額の構成比

回答企業各社の決算年度における年間の不明ロス金額(万引き以外も含む不明ロスの総額)の年間総売上げに対する構成比については、直近年度で、この問いに対する有効回答220社の平均が0.41%となっている。

構成比の多い順としては、ホームセンター・カー用品(0.76%)、服飾・服飾雑貨(0.72%)、その他専門店(0.68%)、時計・めがね(0.62%)、玩具・ホビー用品(0.53%)となっている。

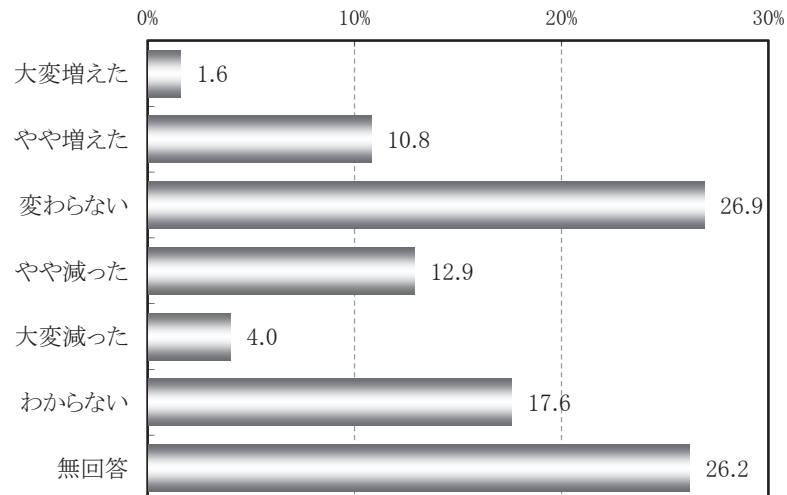


〔経年比較表／業態別比較表〕

業態別	第11回 (平成27年度)			第10回 (平成26年度)	第9回 (平成25年度)
	回答 企業 数	有効 企業 数	1 社 平 均	1 社 平 均	1 社 平 均
全 体	573	220	0.41	0.49	0.65
百貨店	49	23	0.28	0.06	0.26
スーパー	161	56	0.45	0.28	0.88
婦人服・子供服	21	6	0.17	0.19	0.20
紳士服	3	1	0.01	0.00	—
カジュアル衣料	2	0	0.00	0.24	0.00
呉服	3	2	0.01	0.00	0.04
服飾・服飾雑貨	10	6	0.72	0.93	0.80
家具	—	—	—	0.00	0.06
家電製品	1	0	0.00	0.00	0.00
玩具・ホビー用品	12	4	0.53	0.47	0.11
書籍・文具	102	38	0.39	0.90	0.89
ドラッグストア	34	21	0.47	0.98	0.60
靴	6	4	0.03	0.28	0.03
時計・めがね	5	3	0.62	0.13	0.37
宝飾品	4	0	0.00	0.00	0.63
スポーツ用品	2	0	0.00	0.28	0.03
カメラ	—	—	—	—	—
楽器・CD・レンタル	73	25	0.24	0.31	0.59
ホームセンター・カー用品	30	15	0.76	0.49	0.53
総合ディスカウント	3	2	0.45	0.00	0.40
酒類	4	2	0.05	0.00	0.20
生鮮	6	3	0.23	3.57	0.50
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	0	0.00	0.00	0.28
その他専門店	31	9	0.68	0.52	0.14
生活協同組合	1	0	0.00	0.28	—
コンビニ・ミニスーパー	9	0	0.00	0.22	2.21

問 1 3 - 2. 万引被害金額の増減状況

万引被害金額の増減状況については、「変わらない」154件(26.9%)、「わからない」101件(17.6%)、「やや減った」74件(12.9%)、「やや増えた」62件(10.8%)、「大変減った」23件(4%)、「大変増えた」9件(1.6%)となっている。

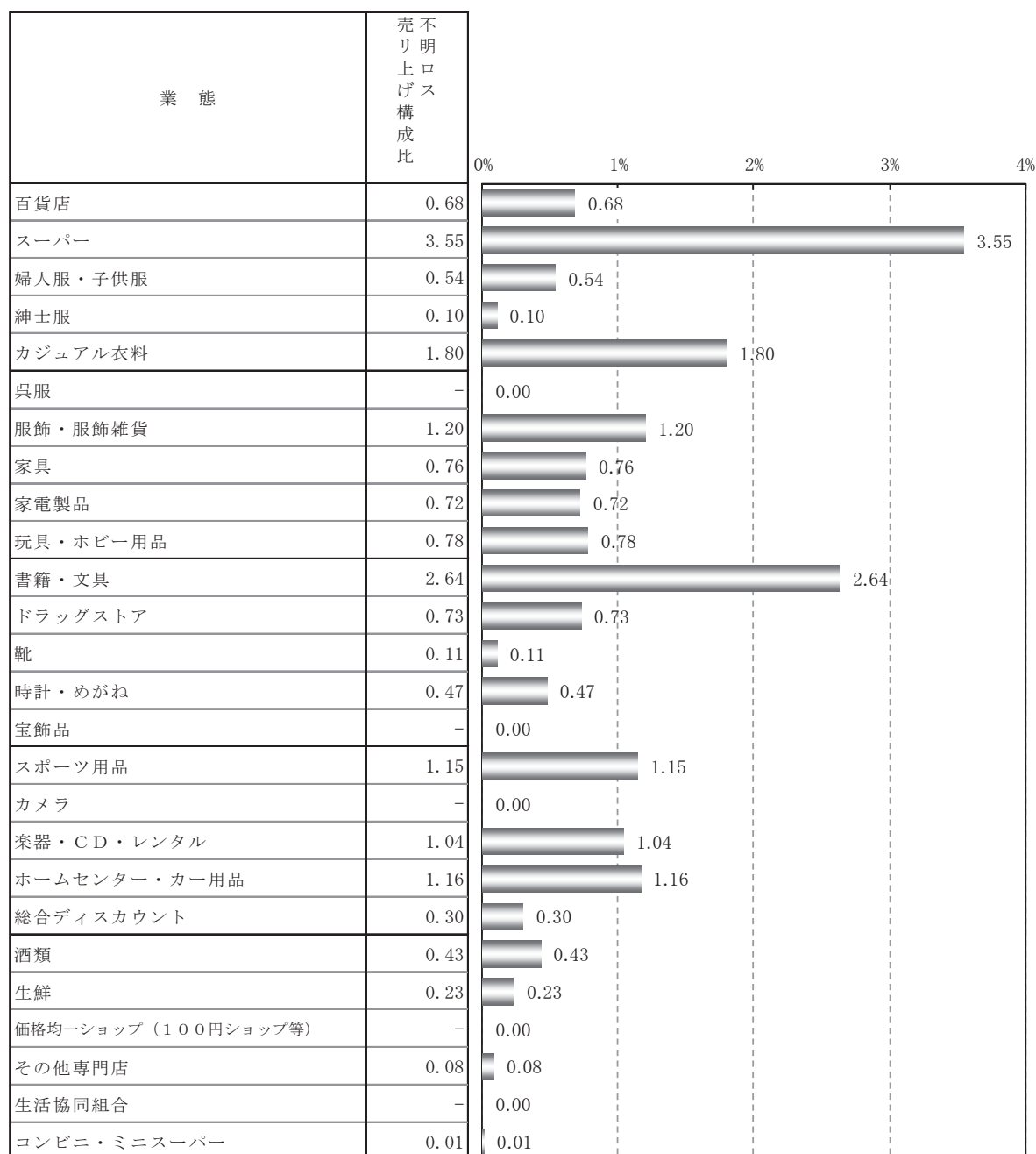


〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

業態別	回答企業数	大変増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	大変減った	わからない	無回答
全 体	573	1.6	10.8	26.9	12.9	4.0	17.6	26.2
スーパー	161	1.2	13.0	33.5	14.3	3.1	19.3	15.5
書籍・文具	102	1.0	6.9	22.5	13.7	4.9	19.6	31.4
楽器・CD・レンタル	73	0.0	4.1	30.1	9.6	13.7	12.3	30.1
百貨店	49	2.0	20.4	16.3	24.5	6.1	8.2	22.4
ドラッグストア	34	8.8	23.5	38.2	8.8	0.0	5.9	14.7
その他専門店	31	0.0	3.2	12.9	0.0	0.0	32.3	51.6
ホームセンター・カー用品	30	0.0	20.0	23.3	13.3	0.0	10.0	33.3
婦人服・子供服	21	0.0	4.8	33.3	14.3	0.0	19.0	28.6
玩具・ホビー用品	12	0.0	0.0	33.3	25.0	0.0	25.0	16.7
服飾・服飾雑貨	10	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	40.0	10.0

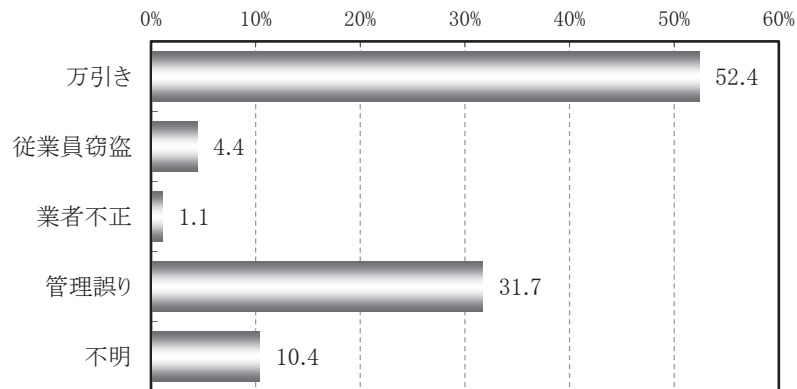
問 1 3 - 3. 不明ロス部門別売上構成比

不明ロス部門別売上構成比については、スーパー(3.55%)、書籍・文具(2.64%)、カジュアル衣料(1.8%)、服飾・服飾雑貨(1.2%)、ホームセンター・カー用品(1.16%)、スポーツ用品(1.15%)、楽器・CD・レンタル(1.04%)、玩具・ホビー用品(0.78%)となっている。



問 1 4. 不明ロス金額の原因別推定割合

回答企業各社における不明ロス金額の原因別の推定割合については、万引き(52.4%)、管理誤り(31.7%)、不明(10.4%)、従業員窃盗(4.4%)、業者不正(1.1%)となっている。

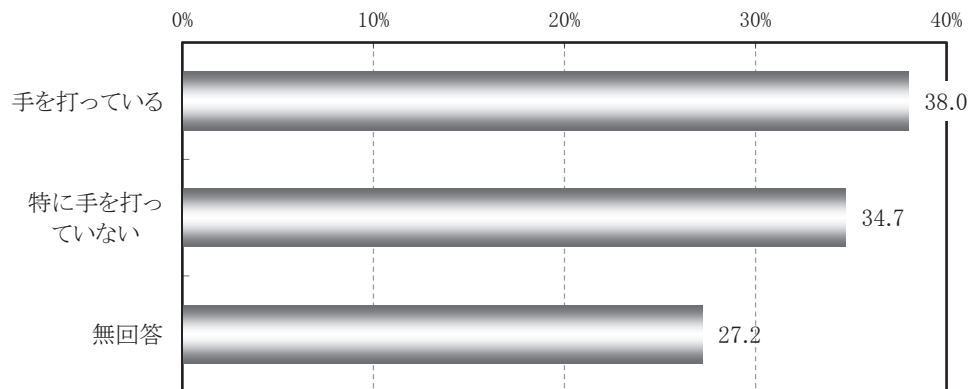


〔業態別比較表〕

業態別	回答企業数	有効企業数	①万引き	②従業員窃盗	③業者不正	④管理誤り	⑤不明
全 体	573	274	52.4	4.4	1.1	31.7	10.4
百貨店	49	28	33.4	1.1	4.4	43.6	17.3
スーパー	161	66	45.4	3.8	1.4	38.3	10.9
婦人服・子供服	21	10	53.0	0.0	0.0	38.0	9.0
紳士服	3	2	35.0	5.0	0.0	50.0	10.0
カジュアル衣料	2	2	45.0	0.0	0.0	50.0	5.0
呉服	3	1	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0
服飾・服飾雑貨	10	5	68.0	2.0	2.0	8.0	20.0
家具	-	-	-	-	-	-	-
家電製品	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玩具・ホビー用品	12	7	68.6	7.1	0.0	22.9	1.4
書籍・文具	102	55	67.3	2.7	0.2	22.6	7.3
ドラッグストア	34	16	50.9	8.8	1.3	23.8	15.3
靴	6	5	36.0	0.0	0.0	58.0	6.0
時計・めがね	5	3	83.3	0.0	0.0	3.3	13.3
宝飾品	4	2	5.0	5.0	0.0	40.0	50.0
スポーツ用品	2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カメラ	-	-	-	-	-	-	-
楽器・CD・レンタル	73	39	67.5	4.9	0.0	23.0	4.7
ホームセンター・カー用品	30	16	36.6	5.6	1.9	42.9	13.0
総合ディスカウント	3	2	40.0	25.0	5.0	20.0	10.0
酒類	4	1	60.0	10.0	0.0	30.0	0.0
生鮮	6	2	60.0	0.0	0.0	25.0	15.0
価格均一ショップ（100円ショップ等）	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他専門店	31	10	37.0	10.0	0.0	40.0	13.0
生活協同組合	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コンビニ・ミニスーパー	9	2	35.0	50.0	0.0	0.0	15.0

問 15-1. 棚卸でロス率が高い店舗の指導状況

棚卸でロス率が高い店舗の指導状況については、「手を打っている」218件(38%)、「特に手を打っていない」199件(34.7%)となっている。



〔業態別比較表〕(上位10業態のみ)

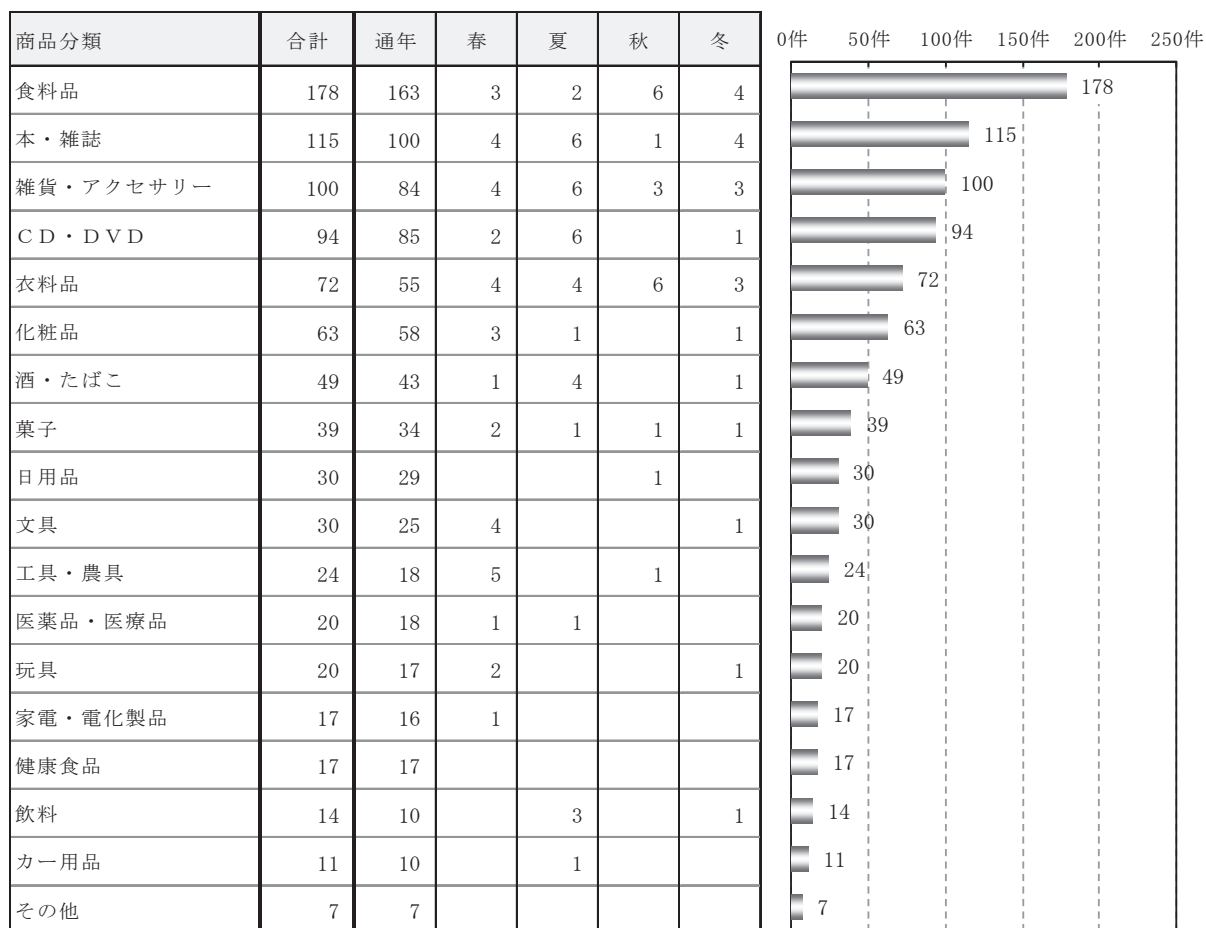
業 態 別	回 答 企 業 数	手 を 打 っ て い る	い 特 に 手 を 打 っ て い な い	無 回 答
全 体	573	38.0	34.7	27.2
スーパー	161	37.3	39.8	23.0
書籍・文具	102	31.4	35.3	33.3
楽器・CD・レンタル	73	27.4	43.8	28.8
百貨店	49	49.0	30.6	20.4
ドラッグストア	34	52.9	29.4	17.6
その他専門店	31	19.4	32.3	48.4
ホームセンター・カー用品	30	56.7	20.0	23.3
婦人服・子供服	21	47.6	14.3	38.1
玩具・ホビー用品	12	58.3	25.0	16.7
服飾・服飾雑貨	10	30.0	70.0	-

問 1 6. 時期別万引被害件数

回答企業各社に万引被害件数の多い商品を、被害件数の多い順に5つの商品を記入方式で尋ねた結果、回答いただいた総商品数は、900品となった。

また、各商品について、被害の発生に時期的な偏りがあるかも併せて尋ねたところ、「CD・DVD」と「酒・たばこ」が夏場にやや多い点を除き、ほぼ通年で被害にあっていていることが分かった。

〔商品分類別比較表〕(件数)



東京万引き防止官民合同会議における各種取組の浸透度等について

警視庁生活安全総務課

1 調査概要

本調査の目的は、東京万引き防止官民合同会議における各種取組の浸透度等を図るため、NPO法人全国万引犯罪防止機構が実施している「全国万引被害実態調査」の中で、調査を実施したものである。

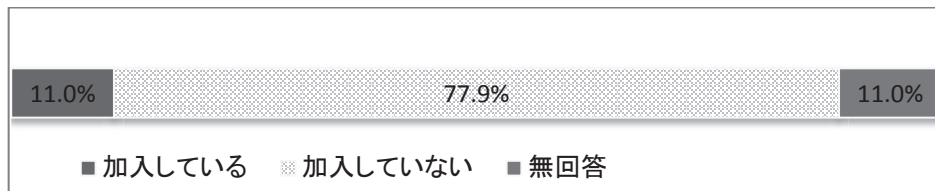
2 調査結果

本調査の対象は、対象企業が東京に店舗を持つと回答している企業を抽出し、調査対象の母数（136社）とした。

□ 東京万引き防止官民合同会議等の取組の認知について



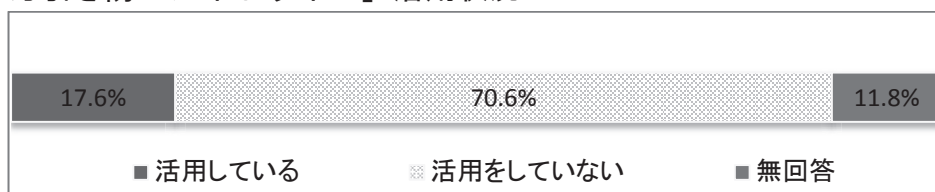
□ 万引き防止連絡会の加入状況



□ 「万引きゼロの日」活動参加経験



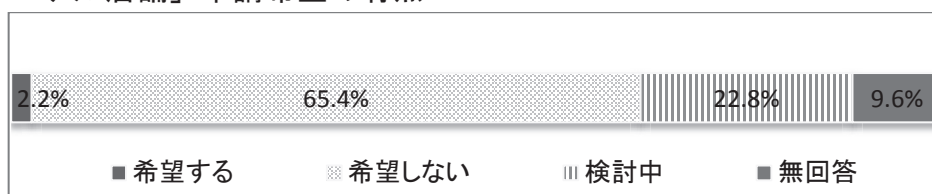
□ 「万引き防止ガイドライン」活用状況



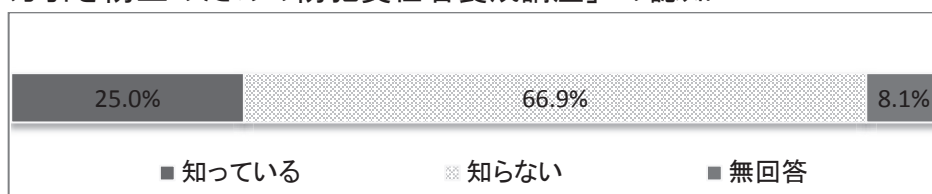
□ 「モデル店舗」認定制度の認知



□ 「モデル店舗」申請希望の有無



□ 「万引き防止のための防犯責任者養成講座」の認知



□ 「万引き防止のための防犯責任者養成講座」受講希望の有無



3 調査結果を踏まえた今後の課題

東京万引き防止官民合同会議は、「官」と「民」が連携し、万引き防止に関して社会の機運を高め、万引きの撲滅を命題として、会議を構成する関係業界・団体の代表者による協議・検討を重ね、「防犯責任者養成講座」「モデル店舗審査」「未成年者による業界独自の買取りルールの制定」等の取組を実施してきた。

しかし、調査の集計結果では、平成21年の設置から6年余りという歳月が過ぎてなお、半数以上が官民合同会議の各種取組の認知について「知らない」と答えており、万引き防止対策を進めてきた官民合同会議の取組そのものが、万引き被害者である企業に知られていない残念な結果となっている。

今後の課題としては、「官」「民」それぞれが、万引きに悩まされている小売店舗を抱える企業に官民合同会議の取組を周知し理解を深められるような広報活動を強化していかなければならない。

Ⅳ. 多くの方々に知ってほしい万引犯罪の実態、もしくは効果が上がったと思われる取組事例

NO	業態	コメント
1	カジュアル衣料	・来店時の挨拶、お声掛け ・人気商品への防犯タグの設置 ・外国人旅行者への大型バックのお預かりサービス
2	楽器・CD・レンタル	昨日、久留米で犯人の弁償払いがあった。指紋より割り出し。
3	楽器・CD・レンタル	店内レイアウト変更。店内巡回。
4	楽器・CD・レンタル	万引きではタダで商品が手に入るのだから、得をした気分だけれど、人としてその奥底の気持ちは悲しく情けない。
5	楽器・CD・レンタル	万引きの疑いのある人に声を掛けたら(店内)、モメたことがある。お店でどこまでがOKで、どこからが過度な対応かがわからない。 後から、専門家(弁護士)に聞くことはできて、現場でその時に判断できないので困る。
6	楽器・CD・レンタル	最盛期には万引きも多く発生し、対策としてセンター(原文ママ)を取り付けて対応してましたが、最近では来店客そのものが少なくなりその必要もなくなりました。
7	楽器・CD・レンタル	集団万引の増加。万引犯の凶悪化(発見をして追跡すると逆に攻撃されたり)。
8	楽器・CD・レンタル	若年層の来客が減ったため、比例して被害も減った。
9	楽器・CD・レンタル	知らないうちにお客様がいるという場面を作らないため、常に来店客があれば大きな声でご挨拶すること。
10	楽器・CD・レンタル	声掛け、巡回。
11	楽器・CD・レンタル	スタッフの店内巡回を増やす。
12	楽器・CD・レンタル	常連のお客様、購入商品が決まっているお客様が多く、万引きはほぼありません(CDセールス全盛期で年間3〜4件程度です)。 時々来店する不審者らしき人には目を離さずに時には声掛けをします(20坪程度の店舗です)。 30年以上前から、各商品に盗難防止目的のタグを付けています(外さずに外に出るとブザーが鳴ります)。
13	楽器・CD・レンタル	挨拶のやまびこ。
14	楽器・CD・レンタル	商店街に歩行者(買物客)が減少のため、万引きするような客も量販店を狙っているようです。
15	楽器・CD・レンタル	顔を見ながら挨拶をする。
16	楽器・CD・レンタル	①いらっしゃいませの一声、②ありがとうございましたの一声、③何かお探しでしょうかの一声
17	業種不明	陳列の工夫、防犯カメラの設置。
18	業種不明	当店では開店以来防犯タグを商品に添付してありますのでゲート近くに寄りますと音が鳴ります(効果は大きいと思います)。
19	業種不明	万引防止器は必要である。した方が絶対に良いと思う。精神的にも。
20	業種不明	商品を直接展示せず、ダミーのケースを作成し、展示している。また、中身を抜いて展示している商品もある(DVD等)。
21	業種不明	店舗からの被害報告を本部で受けたら、出来るだけ速く「速報」として他の店舗へ事実のみでも良いので伝え、注意を促す。
22	業種不明	店舗のある場所柄、外国人の手荒な犯罪が多いこと(凶器などを持っていることが多い)。
23	書店・文具	防犯カメラ導入 万引き防止ポスター 声掛け
24	書店・文具	レンタル業の万引き実態を、御機構も知らなすぎる。そもそも、業態の分類があっていない。その他にも愚問が多すぎる。
25	書店・文具	必ず入口で「いらっしゃいませ」と声をかける
26	書店・文具	・万引き＝ドロボー(犯罪) ・つかまるとどうなるかを一般告知してほしい ・万引きが店の経営に与える影響
27	書店・文具	大量万引きが増えている傾向
28	書店・文具	老若男女問わずの犯行 声掛けは抑止に重要
29	書店・文具	店内巡回
30	書店・文具	不審者への声かけ
31	書店・文具	定期的にピックアップした商品の在庫調査を行い、不明な在庫があった場合には、防犯カメラで確認することで、万引犯および不審人物の特定をし、次回の対策に役立てている店舗もある
32	書店・文具	近年安価なWebカメラが多数発売され、IT知識が少なくても簡単に監視カメラシステムが構築できるのでぜひやってほしい
33	書店・文具	万引き多発場所の近くに作業する場所や、レジを設置することで、万引きが激減した。
34	書店・文具	・顔認証システムの活用で、いち早く容疑者入店に対応する ・地元警察署との連携、定期的な巡回 ・各店舗間での情報共有。法律の許される範囲での他社との情報共有 ・保安員に対する保安実
35	書店・文具	来店客への声かけをしている
36	書店・文具	・防犯カメラの活用(少人数でも不審人物に注意を配れる) ・DV、近隣の警備、警察との連携(普段からコミュニケーションをとることで有事の際助けてもらいやすい)
37	書店・文具	ブックオフがあると万引きはなくなる
38	書店・文具	実例として、自分の読み終えて古くなったコミック本を、新刊書店コミックコーナーに於いて、入れ替えて持ち去ってしまう。

39	書店・文具	子供の教育上再犯防止のため、親と本人があやまりにきた時、商品を購入してもらい、領収の裏書に子供に今後自分としてどういきるか？を誓わせ、親に家の目立つ所にこの領収書をはってくださいとお願い(決して二度と万引きさせないと誓うわけではない)
40	書店・文具	来店時「いらっしやいませ」と声をかける
41	書店・文具	新しいセキュリティに変更した際、被害が減った。ただ、仕組みを理解されると被害が増える。
42	スーパー	保安警備員を入れ、実際に万引きを確保することで警戒心が強くなったのではないかと思います
43	スーパー	①行為におよぶ場所、時間、曜日の特定。 ②声かけ、店内放送 ③対応マニュアル ④地域行政と協力
44	スーパー	防犯カメラの設置
45	スーパー	防犯カメラの増設
46	スーパー	事務所内に今まで万引きし保護された方の顔写真を貼っておくと効果があるそうです。
47	スーパー	・防犯タグの取付 ・館内警備員巡回強化 ・防犯カメラの設置 ・社員及び他社社員との連携
48	スーパー	万引暗号を決め、店全体の従業員に共有化を行っています。
49	スーパー	・お声をかける「いらっしやいませ」 ・店内見晴らし良く棚を低くする。 ・高価なものはレジ近くに
50	スーパー	万引犯及び家族に対し、来店禁止を申しわたす。(田舎ではよく聞きます)
51	スーパー	高齢者が多い
52	スーパー	実態～スーパーマーケットでは高齢者による食料品の万引きが多く、万引き商品を買上げできるお金を所持している場合がほとんどである。 高齢者の規範意識が低い。 90代の万引犯もいる。
53	スーパー	不明ロス発生時の防犯カメラの集中監視体制と保安警備員との連携強化で検挙件数が急増し、万引犯罪も減少傾向にある。
54	スーパー	店内確保。 店内声かけ
55	スーパー	①60歳以上の常習者が増加 ②生活用品の万引(食べ物など) ③反省の意識がない
56	スーパー	従業員一同、お客様への声かけをし、できるだけ気にとめて店内巡回をするようにしています。
57	スーパー	店全体で万引防止に対する意識向上を行うことが必要。 警備と売場従業員との連携を深め、売場から通報が来る仕組みづくり。 大量盗難犯の画像の近隣店舗への共有
58	スーパー	万引しようとしている時声をかけをする(ある程度尾行し様子をみてから)
59	スーパー	死角となっていた出入口を防犯の為という張り紙をして封鎖したところ、その出入口近くの米と酒のロス(不明ロス)がなくなった。 (出入口は青果側の1つのみとした)
60	スーパー	従業員の人たちに防犯意識を高めて頂くように定期的に研修(講義)をしている。 具体的には①お客様への挨拶の徹底と積極的なお声かけ ②お客様から見て隙のない店舗で従業員の目が常に行き届いている環境作り。
61	スーパー	保安警備員導入で万引の実態が分かった
62	スーパー	不審な動きを察知した場合、声かけ、売場案内、レジに同行見送りまで行い、盗めない接客対応を徹底。 犯人の画像・車両を拡大して手配を徹底。
63	スーパー	平成27年11月から28年1月上旬にかけて、山梨県内のスーパーほぼ全社が高級ウイスキー、ケース入り缶ビールを大量にカゴ抜けで万引されました。東南アジア系の1～3人組で堂々とカートに商品を載せ、カメラも全く気にせず犯行していました。
64	スーパー	・声かけ ・保安員投入
65	スーパー	年配者の多くは年金生活でそれだけでは家計が成り立たないので万引をしたという理由をよく聞きますが、本当にそれだけでは生活できないのか疑問
66	スーパー	常習犯については入店した時について回る。 定期的に保安員をいれている。
67	スーパー	防止の強化。 社員による声だしと店内巡回。
68	スーパー	高齢者が多くなっております。 定期で私服警備員を配置しております。 当社の従業員が確保するのは難しい。
69	スーパー	店内でのお客様への声かけ(挨拶)
70	スーパー	数年前までは現行犯でなければ確保できないと認識していましたが、不審な行動をしていたという情報が退店後に入ってきた場合でも、ビデオ録画できちんと確認できれば警察に対応してもらえることがわかりました。よってその5～6年前からはずいぶんと確保件数がふえました。 録画で該当者をレフまで追いポイントカード使用者の場合は住所・指名・電話番号まで割り出し特定することが
71	スーパー	店内積極応待
72	スーパー2	高齢者に対する声掛けの徹底
73	スーパー2	店内で従業員が下を向いて仕事をしない。死角になる場所への巡回。 忙しい時間に店内放送をする。「警備員の～さん、内線110まで・・・」
74	スーパー2	防犯カメラを5年前から全店に導入。合わせてミラーも活用している。 月に2回保安の外注者に入ってもらっている。
75	スーパー2	年配の万引がふえている。 年金受給者など。
76	スーパー2	店舗出入口付近に車両を止め、カゴ抜け、万引したあと速やかに車両に荷物を積み込み逃げて行った。 従業員も追いかけたが間に合わなかった。 男3人と待機している運転手1名の計4人の犯行。 よく盗まれるビール、アサヒスーパードライは空箱を置いてサービスカウンターで直渡しをした時期があったが現在は特売等により現物を置いてしまっている。

77	スーパー2	声掛けによる未然防止
78	スーパー2	年代に関係なく、万引に対する犯罪モラルが低下していることを強く感じます。特に高齢者の万引が目立つことに関しては、一企業としての対策では防止できる範囲を越えていると思われます。行政機関及び社会的、地域的な対策が必要だと思われます。
79	スーパー2	高齢者、特に70歳以上の万引が増加しつつあると感じる。
80	スーパー2	不審客については看過することなく店長席への通報はもとより従業員同士の横の連携を強化し、被害の未然防止を図るべく徹底していたところ、開店直後慌ただしい時間台車に除湿機等の家電品を積載して出ていく不審客を女性レジ担当者が発見。時間的に早すぎるとの不信感から店長席に報告するとともに、機転を効かせ家電売り場に販売事実を電話確認。当日はいまだ販売事実がないことが判明したため店長らと日ごろの連携体制を密にした取組の効果であった。
81	生鮮	怪しい人物は確かに店内に入ってきます。その人物に対して目と目を敢えて合わせる。させない！という意識をもつことが大切。
82	生鮮	万引きの常習者は、成功すると続けて同じ店で失敗するまで万引きを繰り返す傾向があります。
83	生鮮	実態1、入店後、ピンポイントで洋酒売場へ行き、ウィスキー等を肩掛けバックに入れて、そのまま退店する。この間、約2～3分。 実態2、手押し買物カートの取手部にリュックサックを掛けて、買物カゴに入れた商品をカメラ死角でリュックサックに落とし込んで万引きする。
84	その他専門店	不審なお客様に「何かお探ですか？」と声を掛けるようにしています。
85	時計メガネ	お声掛けを実施。
86	ドラッグストア	昨年より、外国人による集団が増えた。以前と異なりベトナム人による集団万引きがあった。
87	ドラッグストア	・商品棚や Gondola を低層化し店内の見通しを良くし、お客様への積極的な声掛けを実施。 ・私服保安警備員の配置を増加する。
88	ドラッグストア	監視カメラを死角ごとに付け、店内を把握できれば万引き出来ない雰囲気が構築できた。
89	ドラッグストア	青少年よりも高齢者による万引きが増えているという事実を知ってほしいと思います。お客様から教えていただくこともあるので、高齢者が一人でいると、注意しながら見てくれる人が多くなると思
90	ドラッグストア	少年や高齢者の万引被害よりも、大量窃盗被害が多く、特に東南アジア系の外国人による集団窃盗被害に頭を痛めている。
91	ドラッグストア	お客様へのお声掛け。
92	ドラッグストア	万引被害額の約88パーセントが、外国人グループ・外個人と思われる単独犯による大量万引きであり、犯行手口も役割分担、防犯タグの無力化等益々悪質・巧妙化している。特効薬となる防犯対策はないものの、昨年中、来店した不審者を従業員が早期に発見して声掛けするとともに警戒するなどの結果、41件を未然防止している、以上の状況から、店舗従業員の防犯意識の向上、本社と店舗、店舗と店舗の万引犯人や不審者等の情報共有の重要性を痛感したところです。
93	ドラッグストア	不審者に対して頻繁な声掛けを実施。
94	百貨店	高齢者による万引き増加。しかも「万引きしていない」となかなか認めようとしない態度。警察官が来てもしらを切る。再犯を防ぐためには、やはり警察への通報をしなければならないと考える。
95	百貨店	万引常習者の顔写真集を備えつけ、店員恒常的に顔を覚え、発見につながっている。
96	百貨店	弊社の万引防止、防犯基準に鑑みた、特に店内での声かけ、また視認性の確保による死角の除去。次に商品の定期的点検や商品管理を徹底することにより万引きは昨対85%となった。電子タグの増強も万引しづらい状況下に置いたことも、好要因の一角となった。専用買物カゴシステムも商品取り込みを防止している。
97	百貨店	化粧品(香水)テスターの盗難が多い。ネットのショッピングサイトでは箱なし使用品が売買されている。特にオークションでの扱いが多く見受けられる。
98	百貨店	犯罪者の高齢化が目立つ(女性・65歳以上)。
99	百貨店	店頭で来客への積極的なお声がけによる犯罪防止を指導している。
100	百貨店	カップル等複数での犯行。
101	百貨店	店内防犯カメラの設置を目立たす。
102	百貨店	・常習者が多い。 ・当店では、顔認証システムを取り入れており、常習犯を現行犯あるいは警察への情報提供により検挙したことで、大幅に人員、被害額とも減少している。
103	百貨店	・万引犯の高齢化が進んでいる。 ・万引きが多発しているフロアを重点に警備員が巡回すると万引きの件数が減少する。
104	婦人服・子供服	具体的な万引対策は行えていない。
105	婦人服・子供服	少数で運営しているのであやしい人にも目配りし続けられない。
106	宝飾品	・来店者への積極的な声掛け(挨拶)を継続的に実施している。実施店舗と未実施店舗とでは、万引被害が少ない。 ・防犯用機器及び装置の露出による威嚇。 ・オープンディスプレイを行わない。万引多発品は死角に展示しない。
107	ホームセンター	商品タグの取り付けによる改善。
108	ホームセンター	1.高額品はカギを付けて管理しています。 2.高額品はダミー展開して対応しています。 3.高額品はクサリを付けて対応しています。

109	ホームセンター	昔の万引きといえば小・中・高校生だったが、今は高齢者ばかりである。万引犯確保は氷山の一角で、実態は多いと思われる。警察の聴取の時、当人達は認知・ボケのふりをすると、警察も厳しくいわず終わる。子供がした場合、保護者と一緒に謝罪に来ていたが、今の高齢者は身元引受人がいるのに謝罪にこない。
110	ホームセンター	地域住民のボランティア活動による万引防止パトロール隊を受け入れております。
111	ホームセンター	従業員の声掛け、巡回。
112	ホビー用品	万引常習グループと思われる人々を個別に警察に通告（あまりに大量に頻繁に売りにきていた）。たまたま、その内の一人が他店で万引きしたものを売りに来たので、即、その場で通報。急行してきた警察により、結局逮捕。以後、グループ全員が来なくなった。
114	ホビー用品	ゲートは基本ダミーに変更してます。中身をカウンターにストックしてます。

V. 万引防止を推進するに際して、社内外等で困っている点

	業態	コメント
115	カジュアル衣料	アジア系のグループによる大量窃盗を防ぐことが難しく、摘発しても一部の人間のみとなり、組織の退治に結びついていかない。
116	楽器・CD・レンタル	従業員、スタッフによる声かけ、挨拶。
117	楽器・CD・レンタル	商品が手に取って見られる状態なので、防犯タグ等を付けても防止には限度がある。
118	楽器・CD・レンタル	万引きをやる人はキョロキョロし、しっかり見守らなければならないのは大変であり、困っています。
119	楽器・CD・レンタル	刑が軽い。
120	楽器・CD・レンタル	商店街にもっともっと人々が来店してほしいのが一番の希望です。
121	業種不明	人員の削減により目が行き届かなくなっている。
122	業種不明	保安警備員を雇う経費予算が組めない。
123	業種不明	店舗の中での声掛けを積極的に推進しているが、外国人客が多いので、言葉の問題で困る。
124	業種不明	人員不足。カメラの死角。
125	書店・文具	・犯人追跡等により従業員の負傷や、犯人の逆上時の対応 ・警察届出後の事情聴取や、証拠品、映像提供に取られる時間が長くなる場合の人員確保
126	書店・文具	私服警備員の質がバラつきが多い
127	書店・文具	人員不足
128	書店・文具	大手百貨店やスーパー、家電量販店のように警備員が常駐するような小売店は少ない。盗まれた商品がどうなったかなども調べる余裕もない。時間もない。ムダである。
129	書店・文具	「いらっしゃいませ」「何をお探しなの」とか声を常にかけるようにさせている
130	書店・文具	人員の配置とコスト
131	書店・文具	店舗人件費の削減により、万引き犯を捕捉した場合にそれ以降の時間の店舗の営業が困難になる事例が多々ある。
132	書店・文具	店舗内確保がいまだに良く思われていない
133	書店・文具	警察官が立件できるかどうかで判断するので、万引き対策がうちづらい
134	書店・文具	・店内確保はOKか ・相手にふれたり、バックをあけたり、相手の意思確認が必要 ・つかまえるためのハードルが高く、間違った時のリスクが店側にある
135	書店・文具	中古品の買取方法が、極めて問題
136	書店・文具	店内巡回
137	書店・文具	従業員への抑止のための教育指導方法
138	書店・文具	触法少年の万引の被害届が受理されず、捕捉しても、徒労感がある
139	書店・文具	・万引犯罪は減少傾向にはない。本社に届く報告書が相変わらず多い。 ・なかなか被害届は受理されない。微罪処分で済んでしまうケースが多い。
140	書店・文具	社員数が少なく、カバーできない
141	書店・文具	ローコストオペレーションとなりつつある店舗の事情を考えると、防犯にさく時間が取れず、無防備な時間が出来てしまう
142	書店・文具	①せっかく顔認証システムを使って常習犯を捕捉出来たのに、弁償能力がない等で被害品を回収出来ない。警察も過去の犯行の立証が難しく捕捉当日のみの立件となる為民事でも回収出来ない ②インターネットでの転売が疑われても被害品が当店のものであるという立証が難しく家宅捜索してみつかっても被害品の認定が得られず、結果返ってこない。
143	書店・文具	人件費削減により少人数での店舗運営となっている店が多く、少ない人員では接客やレジ打ちをしながらの万引き対策に限界が出てくる。不審事項が発生しても追求まで手を回すことが困難になる
144	書店・文具	警察の取調べが長すぎる（平均6時間）
145	書店・文具	防犯設備等の設置に費用がかかる
146	書店・文具	・誤認も含め、犯人を確保するためのリスクが大きい ・防犯カメラなど、ハード面のコスト負担が大きい ・ネットでの売買取引が容易になり、商品や代金の回収が難しくなった ・万引き＝犯罪という意識が薄くなっている
147	書店・文具	周りを定期的に見渡すようにと指示してもなかなかできてない
148	書店・文具	警察官により、対応が違う
149	スーパー	・万引き犯の常習犯…当社では全件警送して、警察の方に対応をしてもらってますが、'常習者'であることが分かったりします。ホームレスの人とかの場合注意しても再犯をすることがあり困っています。 ・認知症…認知症やうつの人がいてやはり再犯の可能性があり困っています
150	スーパー	①常習者 ②万引き買い上げ商品（レジ通過）の見分け

151	スーパー	警察への捜査協力は全面的に行っているが、店舗内の実況検分、逮捕者、参考人の調書作成等々。基本で送致される事件については簡略化されているとは言えず、店長副店長の長期間に及ぶ協力は店舗にとって防犯上最大の問題である。
152	スーパー	高齢者に対する万引き防止策について(有効・適切な)
153	スーパー	費用的効果
154	スーパー	マイバックの使い方・マナーのわるさ。口を開いたマイバックをレジかごに入れて買い物。折りたたんでほしい
155	スーパー	不審人物の店内長期時間徘徊の動向監視
156	スーパー	マイバスケットに入れていしまう→分からない
157	スーパー	徒歩来店の場合万引犯指名を特定しにくい。冬季に大きめのコートを着ていると万引現場を発見しにくい。
158	スーパー	お年寄りの再犯が多い
159	スーパー	警察の対応、時間がかかりすぎる。被害者は蚊帳の外。店内確保について〇〇〇が知らない。バックに商品を隠匿した万引について現場に来た盗犯係が万引犯と一緒にになって〇〇に対して「どうして店内で声をかけたのですか」と言ったこともあった。
160	スーパー	個人情報やプライバシーの問題で「入店拒否」を伝えた万引犯罪者の情報や写真を本部・各店舗間で共有できていない
161	スーパー	従業員、パート・アルバイト等、人権費節約で営業しているので(特に夜など)目が届かないこと。
162	スーパー	警察により対応が統一されていない。対応に時間がかかり簡略化の徹底をお願いしたい。高齢者、障がい者等の理由により買取のみで処分なしが見受けられる。
163	スーパー	万引したらしい(と思われる)人への対応
164	スーパー	地域のお客様とは接する機会がないので、情報を共有して意識交換をしたい。
165	スーパー	万引誤認、万引扱いされたという苦情
166	スーパー	万引犯の店内の滞留時間が長いこと(忙しいので追いかけることができない)
167	スーパー	・犯罪をそそのかすような情報発信(インターネット)・現金化・買取する組織・企業の存在
168	スーパー	コスト
169	スーパー	・一人の万引ならばある程度判断がつくが、複数の場合だと誤認になることもあり、それが原因でトラブルになることもある。 ・常習性がある場合が多く、中には反省していないケースもある。
170	スーパー	保安員の人件費・設備などの費用。現行犯でないと捕まえられる。万引に対する業務上の
171	スーパー	行動が不審で分からない状況。複数での行動。外国人による万引
172	スーパー	通常のお客様が実は万引の常習であることが判明した時
173	スーパー	費用面(人とカメラ)
174	スーパー	マイバックの使用について
175	スーパー2	原則店内では押さえないとしているが思わず対応してしまう事があり、トラブルになるケースがあり徹底が難しい。
176	スーパー2	警察の取り調べ書類作成等の事を考えて、万引犯を捕捉しても、ためらってしまうケースがあります。この現状での万引撲滅は不可能だと思います。
177	スーパー2	誤認や逆ギレ、ジロジロ見ている等のクレームがある。
178	スーパー2	人員不足。防犯カメラの不足。
179	スーパー2	万引防止の有効手的な情報があれば教えてもらいたい。
180	スーパー2	認知症や知的障がい者への対応
181	スーパー2	警察の調書作成に時間がとられる。
182	スーパー2	万引防止運動を強化しすぎてしまうとレジさんが一番本業の正しい業務を遂行できない。いかに万引きをさせないかと昔から言うが、ハードソフト面でも経済的合理性としての特効薬が出てこないのが頭の痛いところです。
183	スーパー2	高齢者の万引が増えている
184	スーパー2	人員不足による店内での声掛け減少
185	スーパー2	・人でが不足している。教育も不十分である。・万引確保時の警察対応時間が長すぎ、それに伴う人件費負担も大きい。
186	スーパー2	①捕捉できるのはほんの一握りの万引犯であり、各種万引対策の効果が実感できない。②全件届出を心掛けているが、店舗管理職(店長・副店長等)が事件対応に2～3時間かかるのは業務上大きな負担であり、状況により被害届を出さないケースがある。※特に夜間から深夜帯に目立つ
187	スーパー2	防犯に対する従業員の意識向上
188	生鮮	万引者を目撃しても最後まで追尾しきれず、取り逃がしてしまう。
189	時計メガネ	防犯カメラ設置の経費。
190	ドラッグストア	万引きに対する認識が希薄。
191	ドラッグストア	・同業者(ドラッグストア)において、監視カメラを設置する場合、どう説明して上司を説得されているか知りたいです。 ・自分の会社が困難をきたすからです。
192	ドラッグストア	万引防止を意識強化すると、どうしてもお客様からジロジロ見られる等の苦情が増える。
193	ドラッグストア	外国人のプロの万引グループに大変困っている。グループでそれぞれの役割を分担し、万引きしていく。狙われたら、防ぐことはかなり難しいと感じる。

194	ドラッグストア	中高生が多数で来店し、異なる場所での万引き。
195	ドラッグストア	万引機構の皆様は万引対策を推進していただいておりますが、まだまだ万引被害は小売店の管理の問題として捉えている人がたくさんおります。高齢者による万引き増加の問題もありますが、ドラッグストア業界にとっては、外国人グループによる万引犯罪がここまで多発し、悪質・巧妙化してくると事業者や業界だけの問題にとどまらず、社会や治安の問題であり、今後、大きな社会問題に発展するおそれのあることを広く社会にアピールしていくことが重要と思います。
196	ドラッグストア	ベトナム人等の集団窃盗が多い。
197	ドラッグストア	万が一、社員が見つけても商品がでてこない場合の対応。声をかけた際のスタッフの安全対策。
198	ドラッグストア	・女性のための少数店舗が多い。 ・万引きしたかどうかわからない人、不審な人に声を掛けにくい。
199	百貨店	警察へ通報すると現場検証等で時間をとられてしまうと営業に支障が出るので、通報をやめてしまう場合がある。
200	百貨店	とにかく分からない。事後しか分からない。
201	百貨店	一般のお客さまにご不快を与えない範囲内で、万引犯の犯行を予防させる手法に難しさを感じま
202	百貨店	(百貨店の特色として)自主売場のほか、所謂「消化先」「テナント」などの売場(仕入)形態の異なったショップが混在しており、実態の把握、情報の共有、指示連絡事項・方針等浸透を図ることが容易ではない。
203	百貨店	高齢者による犯罪の抑止策。
204	百貨店	防犯意識の店舗ごとのレベルの違い。統一した対応ができない。
205	百貨店	人員の不足。
206	百貨店	顔認証システムが有効と思うが、昨年12月新聞に個人情報保護法で運用に規制・・・とあったため、導入が難しくなる点。
207	百貨店	社内でも社外＝警察においても、素早い立ち上がりが必要であり、進んできているが、もう少し速度を速めればさらに減少できていると思っている。
208	百貨店	・確保する際の危険度(誤認または危害を加えられないかの問題)。 ・常習者来店時の人員不足(見張ってられない)。
209	婦人服・子供服	デベロッパー退出時、確認していないところあり。デベロッパーからの対応がバラバラである(警察
210	婦人服・子供服	人員増、カメラ設置等の対策も、ロス額との費用対効果を考えると絶対的に必要とは言えない。
211	婦人服・子供服	対策にはお金と時間がかかり、その為にスタッフを多くするわけにもいかず困っている。また、死角も多くなかなか目が届かない。
212	婦人服・子供服	現行犯で、万引犯を黙認した場合の対処法。
213	婦人服・子供服	被害届を出すのに、勤務中でできず、警察へ届けるのみ時間外になることもある。
214	宝飾品	防犯カメラによる撮影(録画)について、肖像権などを主張されることがある場合、その対応について如何にすることがよいか。指標がないこと。
215	宝飾品	近隣の犯罪の情報がもっと具体的にあるとよい。
216	ホームセンター	フランチャイズ方式であり、万引事案対応、防止対策はそれぞれの法人の責任において行っているところであり、統一的対策を行うには、限度があるという現状です。
217	ホームセンター	大きな投資を必要としない効果的な万引対策があれば教えてください。
218	ホームセンター	地域における同業者の万引犯罪の実態や傾向の情報を共有し、防犯対策にいかせたらと思いま
219	ホビー用品	誤認のリスク。
220	ホビー用品	せっかくゲートがなっているのに声掛けをしない店員がいる。

VI. 万引犯罪被害を減らすための要望

	業態	コメント
221	カジュアル衣料	万引きを全件届出させ、厳しく罰する事。
222	カジュアル衣料	警察内での悪質な万引集団に対する専任を組んでいただき、広域で対応いただきたい。
223	楽器・CD・レンタル	万引きは犯罪だという事(取り返しがつかない事)という考えを徹底してほしい。
224	楽器・CD・レンタル	防犯設備機器(入ロゲート)、カメラ等の精度向上。
225	楽器・CD・レンタル	人間愛
226	楽器・CD・レンタル	厳罰化
227	楽器・CD・レンタル	地域情報の共有化が必要と思われる。
228	楽器・CD・レンタル	刑事さんが時折私服で見回りに来ていただければ助かります。
229	楽器・CD・レンタル	メディアの力はすごく効果があるので、番組で取り上げられる様にして欲しい。
230	楽器・CD・レンタル	万引きは犯罪という事を認知を広げる。
231	楽器・CD・レンタル	万引きは犯罪であることを周知徹底してほしい。
232	楽器・CD・レンタル	徹底した厳罰。
233	楽器・CD・レンタル	世の中(人々)の経済が良くなれば万引きをする人もなくなるでしょう！
234	楽器・CD・レンタル	マスコミ(テレビ等)において、万引犯罪についての啓蒙活動をしていただきたい。格好の悪い犯罪ですよいいたい。
235	楽器・CD・レンタル	高齢者や再犯者が多く思います。罪をさらに厳しくするか、再犯しないような対策が必要です。よろしくお願いします。
236	楽器・CD・レンタル	売上減にともない、万引きも少なくなったと感じている。
237	楽器・CD・レンタル	店内の巡回。
238	楽器・CD・レンタル	CD、DVDの魅力がなくなりつつある現状で万引きも大幅に減少した。

239	業種不明	学校等、教育の中で啓蒙。刑、罰金の強化。
240	業種不明	今はゲームソフトの取り扱いはいしていないためかなり減っていると思います。現物を売場においてないのでストックのみ。
241	業種不明	全員通報の徹底。例外なし。
242	業種不明	万引犯を警察へ引き渡す折の手続きを短時間(30分以内とか)にして欲しい。
243	業種不明	後日、カメラでわかった時でも対処してもらえるなら、多く利用する。
244	業種不明	地域情報ネットワーク必要。
245	酒類	小学校から通し、子供の育成期間中に事の善悪、道德について教育して欲しい。一つの罪が自分のみならず、自分のつながりのある人を困窮させることになり、自分の人生の小さいと思っている悪点が、社会にでてからも自分についてまわることになるか、とかも。
246	書店・文具	ICタグの普及
247	書店・文具	警察主導の万引き対策勉強会などがあると助かります
248	書店・文具	罪を重くしない限り、減らない
249	書店・文具	万引犯の確保やその後について、集計しているのは我々には全く役に立たないし、確保するのが仕事ではない。万引、そのものを防ぐのが仕事であり、未然に防ぐためのアンケートにすべきで
250	書店・文具	学校での万引に関する事を月1回以上朝礼等で子供達に教えてほしい
251	書店・文具	教育現場での指導 地域への周知(地域でこんな万引が発生)※不審者情報みたいに
252	書店・文具	重罪化してほしい
253	書店・文具	バックに入れた瞬間に万引きが成立して立件できるようにしてほしい
254	書店・文具	社会全体で万引が重い罪であることを認識してほしい
255	書店・文具	・上記の緩和 ・国からの設備投資への支援
256	書店・文具	小・中学校でのモラル指導の徹底強化 →校長先生の問題意識のレベルによって大きな差が生じることが予想されますが、やらないよりは効果あり
257	書店・文具	カメラ導入
258	書店・文具	中古販売店に盗品を持ち込むケースが多いので、買取の際の何らかのチェック・規制が確立されればと思います
259	書店・文具	万引きは犯罪であることのアピール
260	書店・文具	万引きは、社会全体で軽微な犯罪と認識されているために、捕まった当人も罪の意識は薄く、繰り返し犯行におよぶ傾向にあります。是非厳しい対応を警察へはお願いしたい。
261	書店・文具	不定期な警察官の立ち寄りが希望
262	書店・文具	簡単に盗って、簡単に換金出来る仕組みになっているから安易に犯行に及び、被害が拡大している。これを改めないと根本的な解決には結びつかない。顔認証システムも効果はあるが、盗もうと思わせない、盗んでも割りに合わない仕組みにしていかなければ書店はどんどん被害にあい、なくなっ
263	書店・文具	警官の巡回強化
264	書店・文具	万引犯の店内確保が警察官により対応がバラバラ、これを何とかしてほしい
265	書店・文具	ネット販売の実態と取締り 中古書店では高く買い取ってくれなかった商品も、多様な種類が高額で売買できるため、それを目的としてプロ集団が来ている
266	書店・文具	犯罪者に100%実刑を与える
267	書店・文具	防犯設備設置の際に補助があると助かります
268	書店・文具	・ポスター等の店舗への配布 ・定期的な警察官の店舗巡回(毎月20日:「万引きゼロの日」活性化) ・広報(地域配布物)等に、「20日」の事を掲載する等
269	書店・文具	商品をおかない
270	書店・文具	社会・メディア全体で「万引き」という単語を使用しないキャンペーンを実施してほしい。「万引き」ではなく、「窃盗」として表記、表現することで犯罪である事を理解してほしい
271	書店・文具	青少年の万引き件数は減りました(少子化?)しかし万引きして良し、つかまって良しの一人暮らし老人はなんともならない。なんとかしてください
272	書店・文具	①古書店での18才未満の人からの本の購入は厳罰してもらいたい ②万引きということばは止めて、窃盗にしたい
273	書店・文具	学校での教育を徹底させる事
274	書店・文具	他企業、他業種さんと対策を話し合ったりする会を3ヶ月に1回程度設けて欲しい
275	書店・文具	当社の業態は60%が小・中高生による万引者の割合となっている。都道府県教委を通して、各学校において万引きは犯罪であることの周知・指導を徹底する必要性を特に感じる。
276	スーパー	①テレビやラジオなどで「万引きは犯罪です」のPRやキャンペーンを継続的に行い意識付けをしていったら根強い効果となっていくのではないですか。②店舗では「顔を向けての声がけ」が一番効果があると思っておりますので、推奨していきます。
277	スーパー	万引犯人の店内確保に関する設問がありますが、店内確保は可能なのか。紛らわしい設問だと思われてます。誤認につながってしまうおそれがある。
278	スーパー	啓蒙用ポスター等の配布
279	スーパー	マナー向上
280	スーパー	①罰則をもう少し重くする。②小学校から学ばせる(教育していく)
281	スーパー	万引防止の防犯ポスターの配布
282	スーパー	当社ではまだないと思っておりますが、集団万引きが発生した時の対策はどのようにしたらよいの
283	スーパー	低所得老人の生活改善

284	スーパー	とにかく高齢者による犯罪が急増しており、いかに高齢者の万引抑止対策をしていくかが今後の課題と考える。
285	スーパー	万引処理の簡易化
286	スーパー	集団窃盗による被害が最近増加している。例) 高級ウイスキー、高級ワイン、スーパードライ等の箱売り、化粧品、米等。換金できる商品の大量被害。防犯カメラの公開を合法的にできるように(情報の共有)
287	スーパー	警察官や学校の先生の店内巡回を地域社会全体の協力を受けていきたいと思っています。
288	スーパー	万引犯確保後の罰則強化。また万引商品の換金ルートの根絶
289	スーパー	制服警官の巡回を希望します。
290	スーパー	損害賠償請求の手続きを教示してください。今後万引きを減らす損害賠償請求まで発展すると言う事を相手に伝えていくことで将来的犯罪を減らしたいと思っています。
291	スーパー	警察官のパトロール、検挙活動の強化、犯罪者の重罪・重罪化。
292	スーパー	警察官の店内巡回
293	スーパー	上記4で記載した東南アジア系男性等による大量万引事件はスーパー各社の連絡でしか発生実態を知るしかありません。警察に被害届は全て出していますが、警察からの各社に対する指示や対応については何の連絡もありません。山梨県を荒らしまわった後、新潟県・千葉県と回っていた様子です。この動きは警察庁では察し警戒予報発令等できませんか。地元では単なる万引事件として対応しているのが実情です。官民一体となってほしいものです。
294	スーパー	高齢者対策
295	スーパー	・マイバック他、手提げかばんは開けたままにしないようお客様にご協力・理解をしてもらう。・定期・定時に巡回し、万引しにくい雰囲気作りをする。
296	スーパー	警察官立ち寄り強化。学校家族よによる教育
297	スーパー	無理なことです、、、、お金をかけカメラ・人を増やす。防犯ベルと警察の連動
298	スーパー	道徳教育(学校・家族・社会の一環体制)
299	スーパー2	防犯カメラ等により監視を強化
300	スーパー2	制服のままの警察官の店内見回りが効果的です。
301	スーパー2	今後、高齢者の万引が増加傾向にあると感じますので、その方への対策を講じて頂ければ幸いです。例えば、万引防止のパンフレット配布など。
302	スーパー2	各店舗に万引Gメンを置く
303	スーパー2	上記の方(認知症や知的障がい者)の方への対応やアドバイス。
304	スーパー2	軽犯罪から重犯罪へのシフトを国で行ってほしい。ICタグ管理にてハード管理できる様、導入ハードルコストを助成金にて対応したらよい。教育・経済向上では効果がない病氣と外国人がモラルハザードしている。助成金補てん金は万引者から徴収のサイクル。生きるためではなくお金がなくて万引している人は少ないと思うが実態をつかめれば教えてほしい。
305	スーパー2	高齢者対策が望まれます。
306	スーパー2	・罪名を変更する。・警察、地域ボランティア等による巡回実施があるとありがたい。・重大犯罪であることのPRを強化する。
307	スーパー2	法律的な対策が必要かと思われます。ハード、ソフト面を強化しても、現行の法律では限界を感じます。店舗管理者に、法的な権限を与えるような抜本的な対策が必要だと感じています。(例)店長に防犯的な「声掛け」「所持品検査」が出来る法律の立案
308	スーパー2	・万引が犯罪であるとの認識をもっと広げてほしい。(軽犯罪であるとの認識から、軽く考えられている⇒罰則の強化) ・高齢者の万引が増加していることに対する問題意識の向上を図ってほしい。 ・認知症等の方の対応について検討してほしい。
309	スーパー2	質問5と重複意見であるが、被害者検挙には至らないものの防犯カメラには鮮明に映っており、写真を開示手配することによって容易に被害者検挙に結び付くものが多い状況にある。鉄人28号の「まんだらけ問題」でもかなり論議された問題であるが、小規模店舗においては万引被害により閉店に追い込まれたり、経営者が自殺するに至る現状を鑑み、「店舗存続の防衛権」として悪質万引犯の写真公開は法改正(解釈)も含めて積極的な検討を加えない限り、単なるイタチゴッコに終
310	生鮮	お巡りさんの巡回を増やしてほしい。
311	生鮮	時間が空いたらパトカーで巡回していただくと犯罪者には牽制にはなると思います。
312	生鮮	万引きできない電磁システムを開発して欲しい。
313	その他専門店	もみじまんじゅう各種(バラ売り)で1個85～130円の商品を例えばポケットの中へ入れられた場合、実体を確認する方法がありますか？カメラの設置等もありません。
314	ドラッグストア	TV、新聞等のマスメディアを通じての広報・啓発活動の積極的な実施。
315	ドラッグストア	・監視カメラ導入(死角ごとに付ける方法)。 ・不審者への声掛け。 ・保安員を入れて監視して貰う方法。
316	ドラッグストア	定期的な警察官巡回。
317	ドラッグストア	マイバック推進はやめてほしい。
318	ドラッグストア	外人窃盗団の情報ががあると助かります。被害金額が一番多いためですが、競合他社からの情報が入ってこないのが警察などの第三者機関から情報をいただけると助かります。

319	ドラッグストア	・被害を減らすためには、被害防止対策と併せて検挙が必要。警察ももう少し動いてもらいたいし ・同業者間での情報共有で、文字ベースの情報だけでなく映像(犯人の顔)の共有が早期に実現でき ればと感じている。
320	ドラッグストア	学校等での教育活動(万引きは犯罪である)。
321	ドラッグストア	ベトナム人グループによる万引きが多発し、大きな被害を受けていることから、ベトナム語の万引 防止策を呼び掛けるポスター等を作成していただきたい。また、ベトナム人万引きグループは、日 本語学校に在籍している者も多いと聞きますので、関係行政機関や警察等による日本語学校に対 する防犯対策の協力依頼を働きかけようしていただきたいです。
322	ドラッグストア	他社との情報共有する機会があると良い。
323	ドラッグストア	警察官の定期立ち寄り所に指定してほしい。
324	百貨店	万引き対策で効果を上げた事例をご紹介します。
325	百貨店	損害賠償請求事例とその効果を教えて欲しい。
326	百貨店	「万引は犯罪です」であることを、幼少時からの教育などの場で繰り返し認識してもらえような社 会的な取り組みが必要だと思います。
327	百貨店	監視カメラ増設の補助制度
328	百貨店	情報管理、セキュリティ対策を踏まえた同業他社との間の常習者情報等の共有化に向けて、百貨 店協会や万引犯罪防止機構に牽引役を担っていただきたい。
329	百貨店	万引犯罪の刑を厳しくしてもらいたい。
330	百貨店	不当要求防止のような説明会を開いていただきたい。売場の協力あつての保安活動となる為、ま ずは売場従業員の意識改革から始めたい。
331	百貨店	私服警官の巡回による警備。高齢者への社会からのケアの必要性。
332	百貨店	・幼、小、中、高、大、学校関係での徹底した一貫性のある教育。 ・成人、高齢者にも機会あるごとに規範意識を高める活動を行っていただきたい。
333	百貨店	万引犯を捕まえた場合に交番に連れていくが、被害店舗の従業員が少ない(居なくなる)ことや交 番等での対応時間が長いことから、犯人は連れていくが被害届は出さないというケースが多い。 もっと簡潔に処理できる方法や犯人に何らかのペナルティを課すことが出来るとよい。
334	百貨店	高齢者の万引き犯が増えているので、医学的な根拠等を調査をし、検証結果等を小売業にフィード バックしていただけると助かります。
335	婦人服・子供服	スタッフの意識の向上と、むずかしいがお客様のモラル。
336	婦人服・子供服	警察官の定期的な巡回。
337	婦人服・子供服	万引きすると、その店の経営悪化をまねき万引者の生活環境を悪化させ、自らも万引きした人間と して価値をおとしめていることに万引者に気づいて欲しい。胸を張って生きる人になってほしい。
338	宝飾品	警察による路上巡回を増やしてほしい。
339	ホームセンター	店内警備の推奨。店内警備費用は店舗が持つため、小さい店舗ほどその効果と実績の割合をみ て、導入を控えてしまうケースがあるため、店舗などを少しでも支援していただくと助かります。
340	ホームセンター	当社では常駐の私服警備員がいない。今後、検討する。
341	ホームセンター	万引犯罪の罰則の強化。
342	ホームセンター	制服警察官の店内巡回をより密にしてもらえたらと思います。
343	ホビー用品	万引きという表現の廃止(全て窃盗で統一)。
344	ホビー用品	厳罰化してほしい。
345	ホビー用品	厳罰化。万引きが軽く考えられている。
346	ホビー用品	年々小中高生など低年齢層の犯罪が組織化され被害規模も拡大している印象があり、例えば「市 内の小～高校の連絡先、担当者名等を市内の小売店に配布・更新」するようなことができないかと は思います。

全国万引被害実態調査

〔 特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構と
警視庁・東京万引き防止官民合同会議との合同調査です。 〕

- ・ 本年度 11 年目を迎える本調査は、小売業店頭での万引犯罪が、企業にとって深刻な経営問題であるにもかかわらず、全国的に、被害の暗数が把握されていない状況等、社会的な対応が遅れているという問題意識から、貴社における現状をお尋ねするものです。
- ・ 本調査票は、調査の性格上、皆さまに記入いただいた調査票を個別に公表したり、税務調査等目的外に使用することは一切ありませんので、ご懸念なくご回答ください。
- ・ この調査票の届いた部門ではご回答の難しい場合は、お手数ですが、所管の部門にお問い合わせの上、ご回答下さるようお願いいたします。
- ・ ご回答は、数字等を記入頂くほか、〔 〕の注意に従い、該当するものの番号を○で囲んでください。
- ・ ご記入はできるだけ意思決定者の方をお願いしたいのですが、代理の方でも結構です。
- ・ 企業名を削除したマスターデータは警視庁と情報を共有いたします。なお、東京万引き防止官民合同会議に参加されている各小売団体とは、業界別の調査結果を共有し今後の具体的な対策立案に活かします。

● 調査票の締切日 平成 28 年 2 月 5 日 (金) までにご返送ください。

合同調査：特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構、警視庁・東京万引き防止官民合同会議

調査協力：警察庁 生活安全局生活安全企画課、日本小売業協会

この調査についてのお問い合わせは下記までにご連絡ください。

問い合わせ先：特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

電話 03-3355-2322 (担当：福井、稲本)

東京万引き防止官民合同会議（都内に関すること）

（事務局 警視庁 生活安全総務課生活安全対策第三係

電話 03-3581-4321 内線：30261）

貴社名 _____

〒 _____

所在地 _____

決算月 _____ 月 店舗数 _____ 店舗

回答者ご芳名 _____ お役職 _____

TEL _____ (_____) _____

貴社の中でもっとも売上構成比の高い部門を下記の中から選択ください。〔1つだけ○〕

選択いただく業態名

- | | | | |
|-------------------------|----------------|------------------|-------------|
| 1. 百貨店 | 2. スーパー | 3. 婦人服・子供服 | 4. 紳士服 |
| 5. カジュアル衣料 | 6. 呉服 | 7. 服飾・服飾雑貨 | 8. 家具 |
| 9. 家電製品 | 10. 玩具・ホビー用品 | 11. 書籍・文具 | 12. ドラッグストア |
| 13. 靴 | 14. 時計・めがね | 15. 宝飾品 | 16. スポーツ用品 |
| 17. カメラ | 18. 楽器・CD・レンタル | 19. ホームセンター・カー用品 | |
| 20. 総合ディスカウント | | 21. 酒類 | 22. 生鮮 |
| 23. 価格均一ショップ（100円ショップ等） | | 24. その他専門店 | |
| 25. 生活協同組合 | | 26. コンビニ・ミニスーパー | |

I. 万引犯罪発見後の処理について

問1. 現在、御社で万引対策を担当されている部署をお答えください。

1. 店舗 2. 本部 3. 警備部門 4. その他
具体的な部門名は _____

警察では「被害者」の負担時間を軽減するために、平成22年10月1日より全国で「届出する書類等の簡略化」がスタートしました。問2-1から問3はその関連質問です。

問2-1. 御社において万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針について 〔1つだけ○〕

1. 全件警察に届出する
2. 警察に届出するのはケースバイケース
3. 届出しない

問2-2. 問2-1. で「警察に届出するのはケースバイケース」を選択された方にお聞きします。警察に届ける際の判断基準がありますか。 〔1つだけ○〕

1. 特に判断基準は無い 2. 判断基準がある

問2-3. 問2-2 で、「判断基準がある」を選択された方にお聞きします。その基準をおしえてください。〔1つだけ○〕

1. 被害額の大きさ
2. 犯行の回数
3. その他

〔 その他の内容 : _____ 〕

問3. 警察の書類作成に要する時間は昨年比変化しましたか。〔1つだけ○〕

1. 警察の対応時間は短くなった 2. 警察の対応時間は長くなった
3. 警察の対応時間は変わらない 4. わからない

II. 万引犯罪の防止策について

問4-1. 御社の万引防止策として、最近一年で新たに実施されている事例があれば教えてください。〔それぞれ1つだけ○〕

- ① ハード（機器等）対策 1. 特にない 2. ある

〔 事例 : _____ 〕

② ソフト（訓練等）対策 1. 特にない 2. ある

（ 事例： ）

③ 万引対策の連絡会や学校などの地域対策 1. 特にない 2. ある

（ 事例： ）

④ 高齢者の万引防止策 1. 特にない 2. ある

（ 事例： ）

問 4-2. 顔認証システムや不審動作を検知する機器を導入していますか。〔1 つだけ○〕

- 1. すでに導入している
- 2. 検討中である
- 3. 考えていない

（ システム名など、コメントがあればお願いします： ）

問 4-3. 集団窃盗対策として、同業者との情報共有についてはいかがですか。〔1 つだけ○〕

- 1. すでに情報の共有をしている
- 2. 検討中である
- 3. 考えていない

（ 何かコメントがあればお願いします： ）

問 4-4. 問 4-3. で「すでに情報の共有をしている」を選択された方にお聞きします。文字だけでなく犯人が映っている画像も近隣の同業店舗と共有されていますか。〔1 つだけ○〕

- 1. 画像も共有している
- 2. 画像は共有していない

（ 何かコメントがあればお願いします： ）

問 5-1. 御社では、万引犯を確保した際、万引犯（もしくはその保護者）に対して、捕捉にかかった費用（人件費等）を損害賠償請求していますか。〔1 つだけ○〕

- 1. すでに導入している
- 2. 検討中である
- 3. 考えていない

（ 何かコメントがあればお願いします： ）

問 5-2. 問 5-1 で「すでに導入している」を選択された方にお聞きします。

損害賠償請求で得た利益はどのようにされていますか。〔1 つだけ○〕

- 1. 雑収入に計上している
- 2. 公益的な活動団体に寄付している
- 3. その他

（ その他の内容： ）

問 6-1. 被害者等通知制度をご存知ですか。なお被害者等通知制度とは、検察官等が犯罪被害者等の方々に「加害者の処遇状況等に関する通知」を行う制度です。〔1つだけ○〕

1. 知らなかった 2. 知っている 3. 活用したことがある

〔活用したことがある場合、その事例を教えてください：〕

問 6-2. 問6-1で「活用したことがある」を選択された方にお聞きします。

昨年、被害者等通知制度を活用されたのは何回ですか。

回

問 7. マイバックについてお伺いします。〔1つだけ○〕

1. マイバックを奨励している
2. マイバックはお断りしている
3. マイバックについては奨励も、お断りもしていない

〔何かコメントがあればお願いします：〕

問 8. 万引窃盗犯の「店内確保」についてはいかがですか。〔1つだけ○〕

1. すでに実施している
2. 検討中である
3. していない

〔何かコメントがあればお願いします：〕

問9-1. これまで、御社で万引された商品がネットに出品されたことはありますか。

〔1つだけ○〕

1. ある 2. ない 3. わからない

問9-2. 問9-1. で「ある」と選択された方にお聞きします。

御社で万引きされた商品がネットに出品されたのは何回ですか。

回

問9-3. 問9-1. で「ある」と選択された方にお聞きします。

御社で万引された商品であると判断した理由は何ですか。（出品された回数の回答をお願いします。）〔該当するもの全てに○〕

1. 商品に付けられた一連番号（シリアル番号）が合致しているから（ 回）
2. 自社のオリジナル商品であるから（ 回）
3. 商品の画像が外形上よく似ているから（ 回）
4. 自社の値札が付いていた・自社の商標やマークがあった（ 回）
5. 警察から連絡があった（ 回）
6. 大量万引された商品が大量にネットで売られていた（ 回）
7. その他（ ）（ 回）

問9-4. 問9-1. で「ある」と選択された方にお聞きします。

どうして万引被害品が出品されていることを知ったのですか。（出品された回数の回答をお願いします。）〔該当するもの全てに○〕

1. 自社社員がネットを調べて見つけた (回)
2. ネット業者から連絡を受けて知った (回)
3. 警察から連絡を受けて知った (回)
4. 第三者から連絡を受けて知った (回)
5. 万引犯人<被疑者>から聞き出した (回)
6. その他 () (回)

問9-5. 問9-1. で「ある」と選択された方にお聞きします。

出品された万引被害品はその後どうになりましたか。（出品された回数の回答をお願いします。）〔該当するもの全てに○〕

1. 警察から手元に戻ってきた (回)
2. ネット業者から手元に戻ってきた (回)
3. 出品者から手元に戻ってきた (回)
4. 戻ってこなかった (回)
5. 犯人が弁済した (回)
6. その他 () (回)

問10-1. インターネット以外の処分先で心当たりはありますか。ある場合は該当する処分先を下記項目から選択ください。回数もお願いします。

1. 中古品店 (回)
2. 質屋 (回)
3. 故買屋 (回)
4. 現金問屋 (回)
5. 海外へ送られている (回)
6. その他 (回)

〔その他の内容： 〕

Ⅲ. 万引犯罪被害の状況及び傾向について

問 11-1. 御社では、直近の決算年度期間中に、全社でおおよそ何件の万引犯罪被害がありましたか。万引犯を確保した（捕まえた）人数を基にお答えください。

_____人 _____件 _____円

問 11-2. 問 11-1 で、確保した万引犯の性別ごとの人数をお聞かせください。

1. 男性 (人) 2. 女性 (人) 3. 性別不明 (人)

問 11-3. 確保した人数の内訳について、全体を 100 とした時の構成比をご記入ください。

合計	①未就学児	②小学生	③中学生	④高校生	⑤大学生	⑥専門学校生
100%	□□%	□□%	□□%	□□%	□□%	□□%
	⑦社会人	⑧主婦	⑨無職(65歳未満)	⑩高齢者(65歳以上)	⑪不明	
	□□%	□□%	□□%	□□%	□□%	

問 12. 問 11-1 で、誰が万引犯を確保したか内訳（確保した万引犯の延べ人数）を項目別にそれぞれご記入ください。

1. 御社の従業員（ 人） 2. 保安警備員（ 人）
3. お客様（ 人） 4. その他（ 人） 5. 不明（ 人）

問 13-1. 御社の決算年度における年間の不明ロス金額（万引以外も含む不明ロス総額）とその年間総売上げに対する構成比について、分かる範囲で記入ください。

直近年度売上金額 兆億（万円）

直近年度不明ロス金額 億（万円）

不明ロス売上構成比 . （%）

※年度については、各社の決算年度単位で結構です。

問 13-2. 問 13-1 でお答えいただいた万引被害金額は、1 年前と比較して、どのような傾向にありますか。〔1 つだけ○〕

1. 大変増えた 2. やや増えた 3. 変わらない
4. やや減った 5. 大変減った 6. わからない

問 13-3. 問 13-1 の不明ロスの中で、部門別で多いと思われる部門の不明ロスの売上に対する構成比を教えてください。部門は下記の選択いただく業態より選択ください。

（例）部門： 14 不明ロス売上構成比： 1. 25 %
1) 部門： 不明ロス売上構成比： . %
2) 部門： 不明ロス売上構成比： . %
3) 部門： 不明ロス売上構成比： . %
4) 部門： 不明ロス売上構成比： . %
5) 部門： 不明ロス売上構成比： . %

選択いただく業態

- | | | | |
|--------------------------|----------------|------------------|-------------|
| 1. 百貨店 | 2. スーパー | 3. 婦人服・子供服 | 4. 紳士服 |
| 5. カジュアル衣料 | 6. 呉服 | 7. 服飾・服飾雑貨 | 8. 家具 |
| 9. 家電製品 | 10. 玩具・ホビー用品 | 11. 書籍・文具 | 12. ドラッグストア |
| 13. 靴 | 14. 時計・めがね | 15. 宝飾品 | 16. スポーツ用品 |
| 17. カメラ | 18. 楽器・CD・レンタル | 19. ホームセンター・カー用品 | |
| 20. 総合ディスカウント | | 21. 酒類 | 22. 生鮮 |
| 23. 価格均一ショップ（100 円ショップ等） | | 24. その他専門店 | |
| 25. 生活協同組合 | | 26. コンビニ・ミニスーパー | |

問 14. 直近の年間不明ロス金額の原因別推定割合をご記入ください。

- ① 万引き 割 ②従業員窃盗 割 ③業者不正 割
④管理誤り 割 ⑤その他 割 （合計 10 割）

問 15-1. 棚卸でロス率が高い店舗の指導はどうされていますか。〔1 つだけ○〕

1. 手を打っている 2. 特に手を打っていない

問 15-2. 問 15-1. で「1. 手を打っている」と選択された方にお聞きします。それは具体的にどんなことですか。

問 16. 万引被害について、被害件数の多い順に商品の種類をご記入ください。それは年間を通して多いですか、それとも季節によって被害が変わりますか。該当する箇所に、○をご記入ください。〔1つだけ○〕

※この回答は万引防止年間チャートの制作に生かされております。		通年または季節で多いですか。				
	商品の種類名	通年	春	夏	秋	冬
1 番目の商品		1	2	3	4	5
2 番目の商品		1	2	3	4	5
3 番目の商品		1	2	3	4	5
4 番目の商品		1	2	3	4	5
5 番目の商品		1	2	3	4	5

IV. 多くの方々に知ってほしい万引犯罪の実態、もしくは効果が上がったと思われる取組事例があればご記入ください。

V. 万引防止を推進するに際して、社内外等で困っている点があればお聞かせください。

VI. 万引犯罪被害を減らすために、ご要望があればご記入ください。

【 次ページⅦの質問は、東京都に店舗がある企業のみお答えください 】

【東京都に店舗がある企業のみお答えください】

Ⅶ. 東京万引き防止官民合同会議よりご依頼する調査

問 17. 東京万引き防止官民合同会議等の取組をご存知ですか。〔1つだけ○〕

1. 知っている 2. 知らない

問 18. 警視庁では、万引き防止対策を推進するために各警察署に万引き防止連絡会を設置しています。万引き防止連絡会に加入していますか。〔1つだけ○〕

1. 加入している
2. 加入していない

問 19. 警視庁では、毎月20日を「万引きゼロの日」として、地域に根ざした万引き防止活動を推進しています。万引きゼロの日の活動に参加された経験がありますか。〔1つだけ○〕

1. 参加した経験がある。
2. 参加した経験がない

問 20. 東京万引き防止官民合同会議で作成した「万引き防止対応ガイドライン」を活用されていますか。〔1つだけ○〕

1. 活用している
2. 活用をしていない

(理由は:)

問 21-1. 東京万引き防止官民合同会議では、店舗審査を実施して、一定の基準に到達した店舗を「モデル店舗」として認定しています。「モデル店舗」認定制度をご存知ですか。〔1つだけ○〕

1. 知っている 2. 知らない

問 21-2. モデル店舗の申請を希望しますか。〔1つだけ○〕

1. 希望する 2. 希望しない 3. 検討中

問 22-1. 東京万引き防止合同会議では、万引きさせない店舗づくり推進に向け「万引き防止のための防犯責任者養成講座」を開催しています。そのような講座をご存知ですか。〔1つだけ○〕

1. 知っている 2. 知らない

問 22-2. 「万引き防止のための防犯責任者養成講座」に参加を希望されますか。〔1つだけ○〕

1. 希望する 2. 希望しない 3. 検討中

ご記入が終わりましたら、記入漏れがないかもう一度お確かめになり、同封の返送用封筒にご投函いただきますようお願い致します。ご協力ありがとうございました。